

業績目録

〔看護学専攻〕

〔基幹看護学講座〕

【論文著書】

(和文著書)

1. 新地洋之, 消化器外科専門医の心得 上巻 第4章 胃・十二指腸 十二指腸腫瘍の外科治療 (Vater 乳頭部腫瘍を除く) (日本消化器外科学会編, 杏林舎, 東京), p.399-401, 2020年2月
2. 小西恵美子 (客員研究員), 看護実践と倫理, 看護学原論 改訂第3版 (高橋照子編, 南江堂, 東京) p116-129, 2020
3. 小西恵美子 (客員研究員), ノラ J. ベンダー;ヘルスプロモーション. モデル, 看護理論家の業績と理論評価 改訂第2版 (筒井真優美編, 医学書院, 東京) p.415-427, 2020

(英文論文)

1. Maemura, K., Mataki, Y, Kurahara, H., Tanoue, K., Kawasaki, Y., Ijichi, T., Iino, S., Ueno S., Shinchi, H., Natsugoe, S., The 1-year outcomes after pancreaticogastrostomy using vertical versus horizontal mattress suturing for gastric wrapping. *Surg Today*. 2020; Sep 23. doi: 10.1007/s00595-020-02134-z. Online ahead of print
2. Kurahara H., Maemura K., Mataki Y., Tanoue K., Iino S., Kawasaki Y., Idichi T., Arigami T., Mori S., Shinden Y., Higashi M., Ueno S., Shinchi H., Natsugoe S. Lung recurrence and its therapeutic strategy in patients with pancreatic cancer. *Pancreatology*. 20(1):89-94, 2020
3. Hisamatsu M., Shinchi H., Tsutsumi Y., Experiences of spouses of patients with cancer from the notification of palliative chemotherapy discontinuation to bereavement: A qualitative study. *Eur J Oncol Nurs*. 2020 Apr;45:101721. doi: 10.1016/j.ejon.2020.101721. Epub 2020 Jan 18
4. Nepal P, Mataki Y, Maemura K., Kurahara H., Tanoue K., Kawasaki Y., Idichi T., Hozaka Y., Iino S., Mori S., Shinchi H., Natsugoe S., Retroperitoneal schwannoma sandwiched between abdominal aorta and inferior vena cava. A case report. *Int J Surg Case Rep*. 2020;73:112-115. doi: 10.1016/j.ijscr.2020.06.087. Epub 2020 Jun 24. Free PMC article
5. Hozaka Y, Mataki Y, Kurahara H., Tanoue K., Idichi T., Kawasaki Y., Iino S., Nepal P, Arigami T., Maemura K., Noguchi H., Shinchi H., Tanimoto A., Natsugoe S., Ohtsuka T., Usefulness of 18F-fluorodeoxyglucose-positron emission tomography/computed tomography in primary cystadenocarcinoma of the mesentery: a case report. *Surg Case Rep*. 2020 Dec 4;6(1):306. doi: 10.1186/s40792-020-01079-2. Free PMC article
6. Nishio, I., Nishimoto, D., Chujo, M., The Study of Experiences during Pregnancy in a Woman with Type 1 Diabetes. *Open Journal of Nursing*, 10(11): 1095-1108, 2020
7. Arisawa, K., Katsuura-Kamano, S., Uemura, H., Tien, V. N., Hishida, A., Tamura, T., Kubo, Y., Tsukamoto, M., Tanaka, K., Hara, M., Takezaki, T., Nishimoto, D., Koyama, T., Ozaki, E., Suzuki, S., Nishiyama, T., Kuriki, K., Kadota, A., Takashima, N., Ikezaki, H., Murata, M., Oze, I., Matsuo, K., Mikami, H., Nakamura, Y., Takeuchi, K., Wakai, K., Association of dietary acid load with the prevalence of metabolic syndrome among participants in the baseline survey of the Japan Multi-Institutional Collaborative Cohort Study. *Nutrients*, 12(6): 1605, 2020
8. Iwase, M., Matsuo, K., Nakatochi, M., Oze, I., Ito, H., Koyanagi, Y., Ugai, T., Kasugai, Y., Hishida, A., Takeuchi, K., Okada, R., Kubo, Y., Shimano, C., Tanaka, K., Ikezaki, H., Murata, M., Takezaki, T., Nishimoto, D., Kuriyama, N., Ozaki, E., Suzuki, S., Watanabe, M., Mikami, H., Nakamura, Y., Uemura, H., Katsuura-Kamano, S., Kuriki, K., Kita, Y., Takashima, N., Nagino, M., Momozawa, Y., Kubo, M., Wakai, K., Differential Effect of Polymorphisms on Body Mass Index Across the Life Course of Japanese: The Japan Multi-Institutional Collaborative Cohort Study. *Journal of Epidemiology*, Online ahead of print, 2020
9. Shimoshikiryo, I., Ibusuki, R., Shimatani, K., Nishimoto, D., Takezaki, T., Nishida, Y., Shimano, C., Hishida, A., Tamura, T., Okada, R., Kubo, Y., Ozaki, E., Matsui, D., Suzuki, S., Nakagawa-Senda, H., Kuriki, K., Kita, Y., Takashima, N., Arisawa, K., Uemura, H., Ikezaki, H., Furusyo, N., Oze, I., Koyanagi, N. Y., Mikami, H., Nakamura, Y., Naito, M., Wakai, K., for the J-MICC Study Group, Association between alcohol intake pattern and metabolic syndrome components and simulated change by alcohol intake reduction: A cross-sectional study from the Japan Multi-Institutional Collaborative Cohort Study. *Alcohol*, Online ahead of print, 2020
10. Suzuki, H., Nakamura, Y., Matsuo, K., Imaeda, N., Goto, C., Narita, A., Shimizu, A., Takashima, N., Matsui, K., Miura, K., Nakatochi, M.,

業績目録

Hishida, A., Tamura, T., Kadomatsu, Y., Okada, R., Nishida, Y., Shimanoe, C., Nishimoto, D., Takezaki, T., Oze, I., Ito, H., Ikezaki, H., Murata, M., Matsui, D., Ozaki, E., Mikami, H., Nakamura, Y., Suzuki, S., Watanabe, M., Arisawa, K., Uemura, H., Kuriki, K., Momozawa, Y., Kubo, M., Kita, Y., Takeuchi, K., Wakai, K., A genome-wide association study in Japanese identified one variant associated with a preference for a Japanese dietary pattern. *European Journal of Clinical Nutrition*, Online ahead of print, 2020

(和文論文)

11. 下吹越直子, 兒玉慎平, 八代利香, ケアマネジャーの基礎資格による訪問看護導入の判断要因の相違. *日本職業・災害医学会誌*, 68(5): 283-290,2020
12. 田中一枝, 米増直美, 八代利香, 2019年度 大学の世界展開力強化事業学生派遣報告—米国 Berea College との交流を通して—, *鹿児島大学医学部保健学科紀要*, 30(1): 31-38,2020
13. 丸山育子, 松成裕子, 看護系大学卒業の看護師の実践能力を測定する「看護実践能力自己評価尺度」の妥当性の検討. *福島県立医科大学看護学部紀要*, 22(1): 13-24,2020
14. 松成裕子, 新川哲子, 今村圭子, 他, 交流集会「放射線診療における困難事例への看護ケアに関する検討会」, *日本放射線看護学会誌*, 8(1): 53-54,2020
15. 西尾育子, 中條雅美, 1型糖尿病患者がもつスキーマに関する事例研究—成人発症の女性患者の体験から—, *日本糖尿病教育・看護学会誌*, 24(2): 73-81,2020
16. 屋久裕美, 鷺塚麻衣, 平島佳林, 坂之上奈々, 武亜希子, 清水佐智子, レボドパ・カルビドパ配合経腸用療法導入に対する患者・家族の思いと看護師が感じた指導上の困難, *鹿児島大学医学部保健学科紀要*35(1): 15-22,2020
17. 清水佐智子, 宇多雅, 岸野恵, 前滝栄子, ホスピス緩和ケア病棟実習で臨死期患者にかかわる際の看護学生の不安とその緩和要因, *死の臨床*43(1): 173-184,2020
18. 李慧瑛, 下高原理恵, 峰和治, 田松裕一, 緒方重光, 医学系文献データベース情報を使ったテキストマイニングの将来展望, *情報の科学と技術*70(10): 515-521,2020
19. 李慧瑛, 日本のメンタルヘルスの研究動向—各年代における労働政策との関連—, *日本職業災害医学会誌* 68(6): 348-355,2020
20. 西本大策, 八代利香, 2019年度 大学の世界展開力強化事業学生派遣報告—中央大学校赤十字看護大学(韓国)との交流を通して—, *鹿児島大学医学部保健学科紀要*, 30(1): 23-30,2020
21. 田中久美子, 八代利香, 看護師のシミュレーション教育に関する研究の動向. *看護科学研究*, 18: 12-17,2020

【学会発表】

(国際学会)

1. Kennison, M., Turner, L., Yatsushiro, R., Yamaguchi, S., Acdan, N., Tanaka, K., Baek, H., Using Collaborative Online International Learning as effective pedagogy to teach rural nursing. *Sigma International Research Congress*, 2020年7月 (online)
2. Nishio, I., Chujo, M., The Stigma and Strategies in patients with Type 1 Diabetes: A Qualitative study. *The 6th International Research Conference of World Academy of Nursing Science*, 2020年2月 (誌上開催)
3. Nishio, I., Chujo, M., The Study of Acquisition of a New Self-image of Japanese Type 1 Diabetes Patients. *The 6th International Research Conference of World Academy of Nursing Science*, 2020年2月 (誌上開催)

(国内学会)

1. 前村公成, 又木雄弘, 蔵原弘, 川崎洋太, 田上聖徳, 伊地知也, 新地洋之, 夏越祥次, 腓頭部浸潤性膵管癌に対する SMA 周囲神経叢郭清の意義. 第50回日本膵臓学会大会. 大阪市, 7月24日, 2020 (Web 開催)
2. 伊地知徹也, 川崎洋太, 前村公成, 又木雄弘, 蔵原, 飯野聡, 田上聖徳, 新地洋之, 夏越祥次, 高齢者における膵頭十二指腸切除術に対する術後合併症予測因子の検討. 第120回日本外科学会定期学術集会. 東京都, 8月13日, 2020 (Web 開催)
3. 吉満工平, 前村公成, 又木雄弘, 蔵原弘, 田上聖徳, 川崎洋太, 伊地知徹也, 下村寛貴, 飯野聡, 上野真一, 新地洋之, 夏越祥次: 腹腔鏡下膵体尾部切除術における Warshaw 手術の検討. 第120回日本外科学会定期学術集会. 東京都, 8月13日, 2020 (Web 開催)
4. 富田実代, 又木雄弘, 前村公成, 蔵原弘, 伊地知徹也, 田上聖徳, 飯野聡, 川崎洋太, 保坂優斗, 盛真一郎, 新地洋之, 夏越祥次, 教室における40歳以下の若年者膵切除症例の検討. 第120回日本外科学会定期学術集会. 東京都, 8月13日, 2020 (Web 開催)

業 績 目 録

開催)

5. 風呂井敦, 田上聖徳, 前村公成, 又木雄弘, 蔵原弘, 川崎洋太, 伊地知徹也, 飯野聡, 迫田雅彦, 上野真一, 新地洋之, 夏越祥次, 当科における5年以上長期生存膵癌症例の検討. 第120回日本外科学会定期学術集会. 東京都, 8月13日, 2020 (Web開催)
6. 又木雄弘, 前村公成, 蔵原弘, 田上聖徳, 川崎洋太, 伊地徹也, 飯野聡, 盛真一郎, 新地洋之, 夏越祥次, 局所進行膵癌に対する化学放射線療法 of 検討. 第120回日本外科学会定期学術集会. 東京都, 8月13日, 2020 (Web開催)
7. 蔵原弘, 前村公成, 又木雄弘, 田上聖徳, 飯野聡, 川崎洋太, 伊地知徹也, 上野真一, 新地洋之, 夏越祥次, 膵癌切除症例における術前治療効果と術後補助療法. 第120回日本外科学会定期学術集会, 東京都, 8月13日, 2020 (Web開催)
8. 前村公成, 又木雄弘, 蔵原弘, 田上聖徳, 川崎洋太, 伊地知徹也, 飯野聡, 上野真一, 杉本真樹, 新地洋之, 夏越祥次, ドップラー超音波血流計と複合現実3Dホログラフィー技術の併用による術中血管追跡法の試み. 第120回日本外科学会定期学術集会, 東京都, 8月13日, 2020 (Web開催)
9. 又木雄弘, 前村公成, 蔵原弘, 田上聖徳, 川崎洋太, 伊地知徹也, 保坂優斗, 飯野聡, 盛真一郎, 新地洋之, 夏越祥次, 肝胆膵領域術後出血に対する治療戦略一教室における膵頭十二指腸切除術後出血の検討. 第56回日本腹部救急医学会総会, 名古屋市, 10月8日, 2020 (Web開催)
10. 保坂優斗, 又木雄弘, 伊地知徹也, 田上聖徳, 川崎洋太, 蔵原弘, 飯野聡, 前村公成, 新地洋之, 大塚隆生, 下行結腸腸間膜原発の膵膵腺癌の1例. 第82回日本臨床外科学会, 大阪市, 10月29日, 2020 (Web開催)
11. 木下天翔, 八代利香, 手術室看護師が経験する倫理的問題の具体的内容. 日本看護倫理学会第13回年次大会, 2020年5月 (誌上開催)
12. 田畑千穂子, 八代利香, 無医地区離島に暮らす住民の人生会議に参加しての思い. 日本看護倫理学会第13回年次大会, 2020年5月 (誌上開催)
13. 阿久根祥, 田實美咲, 喜田めぐみ, 森尾里香, 竹原沙織, 宮田径代, 西尾育子, 牧瀬高穂, めまいを訴える患者からの電話相談と自己評価抑うつ性尺度 (SDS) との関連. 第51回日本看護学会学術集会, 2020年11月 (誌上開催)
14. 岩吉美保, 繁昌可奈, 長友正史, 鶴田翔子, 五反田智美, 塗木さゆり, 清水佐智子, 離島在住の腎移植患者が退院後に抱える不安や悩み, 第53回日本臨床腎移植学会, 2020年2月 (東京都)
15. 山田由美子, 山口拓允, 松成裕子, 原子力災害から10年目の今, 看護職としての備えは万全か, 日本放射線看護学会第9回学術集会, 2020年9月 (広島)
16. 新川哲子, 野戸結花, 松成裕子, 放射線看護の専門性と役割開発, 日本放射線看護学会第9回学術集会, 2020年9月 (広島)
17. 大石景子, 松成裕子, 新川哲子, 放射線診療における困難事例への看護ケアに関する検討会第2回, 日本放射線看護学会第9回学術集会, 2020年9月 (広島)
18. 西本大策, 八代利香, 活動報告 2019年度大学の世界展開力強化事業における中央大学校赤十字看護大学 (韓国) との交流, 第52回日本医学教育学会大会, 2020年7-10月 (誌上発表)
19. 西本大策, 兒玉植平, 下敷領一平, 指宿りえ, 根路銘安仁, 西尾育子, 嶽崎俊郎, 臨床看護師のバーンアウトとレジリエンスの関連一本土と離島の地域差について, 第79回日本公衆衛生学会総会2020, 2020年10月 (Web開催)
20. 田中久美子, 八代利香, 大学病院における地域の看護職を対象としたシミュレーション教育. 日本看護研究学会第46回学術集会, 2020年9月~11月 (Web開催)
21. 田中久美子, 八代利香, 看護職教育における大学病院の地域貢献, 第51回日本看護学会学術集会看護教育, 2020年11月 (オンライン)

【講演】

1. 新地洋之, 種子島医療センタースタッフ勉強会. 2020年2月, 3月, 5月, 6月, 7月, 9月, 10月, 11月 (西之表市)
2. 八代利香, 倫理的配慮. 公益社団法人鹿児島県看護協会令和元年度実習指導者講習会, 2020年1月 (鹿児島市)
3. 八代利香, 看護管理における倫理的課題. 公益社団法人鹿児島県看護協会令和元年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル, 2020年10月 (鹿児島市)
4. 八代利香, 看護論Ⅱ. 公益社団法人鹿児島県看護協会令和元年度実習指導者講習会, 2020年12月 (鹿児島市)
5. 西尾育子, 鹿児島大学病院看護部主催看護研究研修, 研究お助けサロンでよくある相談内容と助言を通して, 2020年6月 (鹿児島市)
6. 西尾育子, 鹿児島県合同進学ガイダンス (分野別授業), 看護を学ぼう~糖尿病をもつ人への看護~, 2020年12月 (鹿児島市)

業 績 目 録

7. 清水佐智子, 努力を100%活かすために一総評一, 公益社団法人鹿児島県看護協会令和元年度第53回鹿児島県保健看護研究会, 2020年2月(鹿児島市)
8. 李慧瑛, クリティカルシンキング. 全国看護高等学校長協会第51回全国看護高等学校研究協議大会, 2020年7月(鹿児島市)

【その他】

(座長等)

1. 新地洋之, 第46回日本膝切研究会. Quick shot presentation 3福岡市, 2020年8月(Web開催)
2. 八代利香, 日本看護倫理学会第13回年次大会 倫理教育カフェアドバイザー, 倫理的感受性を持ち続けるために, 2020年5月(誌上開催)
3. 八代利香, 日本看護倫理学会第13回年次大会 基調講演座長, 西村ユミ, 看護師の倫理実践力—語れない語られないものを観る力—, 2020年5月(誌上開催)
4. 今村圭子, 松成裕子, 離島の介護職者を対象とした防災・減災教育の研修報告, 鹿児島大学地域防災教育研究センター令和元年度報告書, 86-91,2020
5. 西尾育子, 鹿児島県がん看護研究会, がん診療とCOVID-19診療を両立させるうえでの葛藤とスタッフ側の感染対策, 2020年10月(Web開催)

【講習会】

1. 松成裕子, 鹿児島市原子力災害対策図上訓練研修会 講師, 2020年1月(鹿児島市)
2. 松成裕子, 鹿児島市原子力災害対策図上訓練第2回作業部会研修会 講師, 2020年1月(鹿児島市)
3. 松成裕子, 鹿児島市原子力防災訓練のための説明会 講師, 2020年1月(鹿児島市茄子田自治会)
4. 松成裕子, 鹿児島市原子力防災訓練のための説明会 講師, 2020年1月(鹿児島市大浦自治会)
5. 松成裕子, 鹿児島市原子力防災訓練のための説明会 講師, 2020年1月(鹿児島市常盤自治会)
6. 松成裕子, 鹿児島市原子力防災訓練のための説明会 講師, 2020年1月(鹿児島市雪平自治会)
7. 松成裕子, 鹿児島市原子力防災訓練のための説明会 講師, 2020年1月(鹿児島市里岳自治会)
8. 松成裕子, 鹿児島大学地域防災教育研究センター, 鹿児島県診療放射線技師会, 量子科学技術研究開発機構・放射線医学総合研究所共催「福島災害医療セミナー in 鹿児島」総合司会, 2020年1月11, 12日(鹿児島市)
9. 松成裕子, 環境省・鹿児島大学地域防災教育研究センター共催「新人保健師を対象とした放射線に関する研修会」総合司会, 2020年2月
10. 松成裕子, 出前授業 看護職について. 鹿児島県立伊集院高等学校 講師, 2020年7月(日置市)
11. 松成裕子, 環境省・鹿児島大学地域防災教育研究センター共催「防災ワークショップ」総合司会, 2020年12月(鹿児島市)
12. 松成裕子, 令和2年度防災・日本再生シンポジウム「大規模火山噴火時の災害医療に挑む—新たな取り組みと研究—」総合司会, 2020年12月(鹿児島市)
13. 清水佐智子, Module7喪失・悲嘆・死別. 特定非営利活動法人日本緩和医療学会 ELNEC-J コアカリキュラム指導者養成プログラム, 2020年2月(東京都)
14. 清水佐智子, 実習指導の評価Ⅰ. 鹿児島県看護協会令和元年度実習指導者講習会, 2020年12月(鹿児島市)
15. 中俣直美: 喀痰吸引概説, 健康状態の把握, 経管栄養概説, 喀痰吸引・経管栄養の実習, 特定認証交付のための喀痰吸引等講習会, 日本ALS協会鹿児島県支部, 2020年1月(鹿児島市), 6月(鹿児島市), 7月(徳之島町)
16. 中俣直美: 吸引・胃ろうケア講義・演習, 3号研修(医療ケア)更新研修・家族以外の介護者の吸引講習会, 日本ALS協会鹿児島県支部主催, 2020年2月(鹿児島市), 4月(鹿児島市), 7月(鹿児島市), 8月(西之表市, 奄美市), 10月(薩摩川内市), 11月(鹿屋市)
17. 中俣直美: 実習指導の原理, 看護職員の能力向上対策研修会(特定分野における実習指導者講習会), 鹿児島県看護協会(鹿児島県委託事業), 2020年7月(鹿児島市)
18. 中俣直美: 実習指導の原理, 臨床指導者研修会, 鹿児島大学病院看護部, 2020年8月(鹿児島市)
19. 中俣直美: 実習指導の原理Ⅰ・Ⅱ, 鹿児島県臨床指導者研修会, 鹿児島県看護協会, 2020年12月(鹿児島市)
20. 山口さおり, 看護過程概論. 令和元年度看護職対象研修「看護実践のプロセスⅡ」, 鹿児島大学病院看護部, 2020年12月(鹿児島市)

(看護学専攻成育看護学講座)

【論著書】

(英文論文)

1. Kazuo Itabashi, Tokuo Miyazawa, Akihiko Sekizawa, Akifumi Tokita, Shigeru Saito, Hiroyuki Moriuchi, Yasuhito Nerome, Kaoru Uchi-maru, Toshiki Watanabe. A Nationwide Antenatal Human T-Cell Leukemia Virus Type-1 Antibody Screening in Japan, *Frontiers Microbiology*, 2020, DOI:10.3389/fmicb.2020.00595
2. Kazuo Itabashi Tokuo Miyazawa Yasuhito Nerome Akihiko Sekizawa Hiroyuki Moriuchi Shigeru Saito Naohiro Yonemoto. Issues of infant feeding for postnatal prevention of HTLV-1 mother-to-child transmission, *Pediatrics International*, 2020, <https://doi.org/10.1111/ped.14356>
3. Yoshihito Tomita, Kazuhiko Arima, Satoshi Mizukami, Ritsu Tsujimoto, Shin-ya Kawashiri, Takayuki Nishimura, Takuhiro Okabe, Natsu-mi Tanaka, Yuzo Honda, Kazumi Nakahara, Naoko Yamamoto, Izumi Ohmachi, Hisashi Goto, Maiko Hasegawa, Youko Sou, Itsuko Hori-guchi, Mitsuo Kanagae, Yasuyo Abe, Fumiaki Nonaka, Mami Tamai, Hiroto Yamanashi, Yasuhiro Nagata, Atsushi Kawakami, Takahiro Maeda and Kiyoshi Aoyagi, Association between self-reported walking speed and calcaneal stiffness index in postmenopausal Japanese women, *BMC Geriatrics*, 2020, DOI:10.1186/s12877-020-01858-4

(和文論文)

1. 猪目安里, 井上尚美, 吉留厚子, 分娩施設のない離島に住む母親の妊娠期・産褥期におけるセルフケア行動, *日本助産学会誌* 34(1) : 81-91, 2020
2. 宮田美波, 井上尚美, 萬歳優美, 中尾優子, 母子健康手帳の自己記載欄活用状況に関する調査. *母性衛生* 60(4) : 653-661, 2020
3. 山本直子, 水野昌美, 根路銘安仁, 中尾優子, 医療的ケア児を育てている母親が抱える近隣者との繋がりに関する思い—訪問看護を利用している母親へのインタビュー調査より—, *母性衛生* 60(4) : 526-533, 2020
4. 大石侑, 井上尚美, 吉留厚子, 分娩施設へ長距離移動する妊婦の思い, *母性衛生* 61(1) : 67-75, 2020
5. 相原佳奈子, 井上尚美, 中尾優子, 口唇口蓋裂児の疾患に対する思い—高校生へのインタビュー調査より—. *母性衛生* 61(2) : 177-186, 2020
6. 井上尚美, 中尾優子, 兒玉慎平, 吉留厚子, 離島に在住する妊婦のマタニティクラス参加状況と課題—A町の母親への調査より—, *母性衛生* 61(2) : 314-321, 2020
7. 藤重佑梨, 井上尚美, 根路銘安仁. 風疹感受性世代の男性にアプローチする 手段としての妊婦のパートナーを介した 簡易なパンフレット配布の有効性の検討, *母性衛生*, 61(2) : 415-422, 2020
8. 井上尚美, 兒玉慎平, 吉留厚子, 助産師の厳しい医療環境下で行うケアへの自信と不足していると感じる能力—離島で活動できる助産師の育成を目指して—, *鹿児島大学医学部保健学科紀要* 30 : 1-8, 2020
9. 久永房子, 上野ひとみ, 奥田アンズ, 倉津志朋, 久保園サトミ, 豊福美穂, 井上尚美, 鹿児島県看護協会における性教育の活動報告と今後の課題, *鹿児島県母性衛生学会誌* 24 : 5-8, 2020
10. 田中一枝, 米増直美, 八代利香, 2019年度 大学の世界展開力強化事業学生派遣報告—米国 Berea College との交流を通して—, *鹿児島大学医学部保健学科紀要*, 30(1) : 31-38, 2020
11. 根路銘安仁, 各地域の母子感染対策の実際 : 鹿児島県, *周産期医学*, 50(10) : 1755-1757, (株)東京医学社, 2020

【学会発表】

(国際学会)

1. Monica Kennison, Lisa Turner, Rika Yatsushiro, Saori Yamaguchi, Naomi Acdan, Kazue Tanaka, Hee Chong Back, Using Collaborative Online International Learning as Effective Pedagogy to Teach Rural Nursing, *Sigma*, 2020

(国内学会)

1. 酒井菜南子, 井上尚美, 根路銘安仁, 医療系大学生への講義前後の知識・予防行動意識調査から明らかになったヒトパピローマウイルスワクチンの予防行動意識へのがん検診知識の有用性, 第34回日本助産学会学術集会, 2020年3月(新潟)
2. 藤重佑梨, 井上尚美, 根路銘安仁, 風疹感受性世代の男性にアプローチする手段としての妊婦のパートナーへの簡易なパンフレットの有効性の検討. 第34回日本助産学会学術集会, 2020年3月(新潟)
3. 田中一枝, 中尾優子, 有村夕加, 中山みゆき, 清瀬みき子, 根路銘安仁, NICUに入院した児に対して日記帳を利用した母親

業 績 目 録

- の想い, 第34回日本助産学会術集会, 2020年3月(新潟)
4. 楠元裕佳, 井上尚美, 根路銘安仁, 兒玉慎平, 中尾優子, 研究お助けサロンの活動報告と今後の課題, 第52回日本医学教育学会, 2020年7月(鹿児島)
 5. 上村美優, 大谷奈那, 北渡瀬郁恵, 栄詩帆, 出口明美, 鎌賀愛, 中尾優子, 退院後のリンパ浮腫セルフケアの実際とその思い, 第33回鹿児島県母性衛生学会, 2020年8月(鹿児島)
 6. 田下美聡, 橋之口愛菜, 厚地ゆり, 平佐田彩, 坂上絵美, 岩坪笑, 白石靖子, 山本直子, 小児がん患児への中心静脈カテーテル挿入部の初回消毒のプレパレーションの現状と課題～小児病棟看護師へのインタビュー小児がん患者児への調査より～, 日本小児看護学会第30回学術集会, 2019年9月(オンライン)
 7. 尾山智美, 山本直子, 小児在宅移行期支援における看護職間の医療的ケア児の情報共有に対する訪問看護ステーション管理者の認識, 日本小児看護学会第30回学術集会, 2019年9月(オンライン)
 8. 原田真帆, 中尾優子, 看護職による産後うつ病への妊娠期介入に関する文献検討, 第61回日本母性衛生学会, 2020年10月(静岡)
 9. 後藤美月, 中尾優子, 分娩期の産婦の満足感に影響を与えるケアに関する文献検討, 第61回日本母性衛生学会, 2020年10月(静岡)
 10. 宇野慶子, 中尾優子, 低出生体重児の吸啜に関する文献検討, 第61回日本母性衛生学会, 2020年10月(静岡)
 11. 市成優希, 井上尚美, 糖尿病合併妊婦の心理的体験に関する文献検討, 第61回日本母性衛生学会, 2020年10月(静岡)
 12. 脇田天希, 若松美貴代, 周産期喪失を体験した母親が看護職によるケアや看護職の関わりを通して抱いた思いに関する文献研究, 第61回日本母性衛生学会, 2020年10月(静岡)
 13. 益山葵, 藤田華菜子, 佐藤雄太, 佐々木つぐ美, 渡邊聡子, 脇岡奈津子, 白石靖子, 水野昌美, 根路銘安仁, 造血幹細胞移植を行ったAYA世代患者に対する医療者の意識調査～妊孕性に対する課題～, 第18回日本小児がん看護学会学術集会, 2020年11月(福島)

【講演】

1. 根路銘安仁, 「HTLV-1母子感染予防対策マニュアル2017年版と鹿児島県 HTLV-1母子感染マニュアル」令和元年度HTLV-1対策講習会, 2020年2月(鹿児島市)
2. 井上尚美, 助産倫理. 公益社団法人鹿児島県看護協会 令和元年度新人助産師合同研修会, 2020年2月(鹿児島市)
3. 井上尚美, より良い支援を目指して 母子保健推進員としてできること～繋ぐ・寄り添う・支え合う～. 伊集院保健所 令和元年度地域母子保健推進研修会, 2020年2月(日置市)
4. 井上尚美, いのちの誕生 いのちについて考える. 鹿児島市立皇徳寺中学校 性教育講演会, 2020年2月(鹿児島市)
5. 井上尚美, 性に関する指導子どもの誕生を通して, 自他のいのちの大切さ, かけがえのなさについて考える. 鹿児島市皇徳寺中学校 性に関する指導, 2020年2月(鹿児島市)
6. 若松美貴代, 妊産婦への支援と多職種連携. 令和元年度 子育て世代包括支援センター地域連携協議会, 鹿児島市北部保健センター, 2020年2月(鹿児島市)
7. 根路銘安仁, 「疾患の理解と応急処置～児童生徒に多い症状と考えられる疾患～」. 令和2年度新規採用養護教諭研修会, 2020年5月(鹿児島市)
8. 根路銘安仁, 「小児の新型コロナウイルス感染に関して医学的知見から対策を考える」. 鹿児島県小中学校養護教諭等連絡協議会, 2020年6月(鹿児島市, Web)
9. 根路銘安仁, 「小児科医が養護教諭と共有したい虐待の知識」鹿児島県小中学校養護教諭等連絡協議会, 2020年8月(鹿児島市, Web)
10. 根路銘安仁, 「低出生体重児の原因と問題～社会的影響と対策を考える～」. 鹿児島県母子保健担当者研修会2020年8月(鹿児島市, Web)
11. 根路銘安仁, 「新型コロナなどの感染から子どもを守ろう」. 第32回南日本こども健康セミナー, 2020年8月(鹿児島市, Web)
12. 山本直子, おうちから参加できるマザークラス. マタニティライフを楽しもう. 今だから知りたい!わたしのこころとからだ. 2020年鹿児島大学医学部保健学科看護学専攻成育看護学講座公開講座, 2020年8月(鹿児島市)
13. 山本直子. 研究倫理申請をするにあたって～よくある?!倫理上の注意点～. 鹿児島大学病院看護部 令和2年度看護研究セミナー, 2020年8月(鹿児島市)

業績目録

14. 若松美貴代, 質問紙のとり方・活用(総論) その後の連携. 令和2年度 鹿児島市産婦支援小児科連携事業研修会2020年8月(オンライン開催)
15. 中尾優子, 研究倫理, 鹿児島県看護協会研修会, 2019年9月(鹿児島市)
16. 中尾優子, 看護研究活動の支援, 鹿児島県看護協会研修会, 2020年9月(鹿児島市)
17. 山本直子, 夏バテお肌をレスキュー!! ~おうちでできるスキンケア: 親子編~, 令和2年度 鹿児島市南部親子つどいの広場助産師講座, 2020年9月(鹿児島市)
18. 中尾優子, 看護研究活動の支援受講者フォローアップ研修, 鹿児島県看護協会研修会 2020年10月(鹿児島市)
19. 根路銘安仁, 「感染症対策」, 鹿児島竜谷学園幼保職員研修会, 2020年10月(鹿児島市)
20. 根路銘安仁, 「多機関連携によるHTLV-1キャリアとその家族への支援と母子感染予防について」, 三重県 HTLV-1母子感染対策研修会, 2020年10月(三重県, Web)
21. 井上尚美, 若年層の望まない妊娠を事前に防ぐ, 周りの大人の関わり方. 鹿児島県くらし保健福祉部子ども家庭課 令和2年度女性健康相談従事者研修会, 2020年10月(鹿児島市)
22. 井上尚美, これからの未来と性を考える~大人の準備~, 鹿児島市立南中学校 性に関する指導講座, 2020年11月(鹿児島市)
23. 井上尚美, より良い支援を目指して 母子保健推進員としてできること~繋ぐ・寄り添う・支え合う~, 鹿児島県屋久島保健所 令和2年度屋久島地域母子保健推進研修会, 2020年11月(屋久島町)
24. 若松美貴代, 質問紙票のとり方・活用(各論)聞き取りまで. 令和2年度 鹿児島市産婦支援小児科連携事業研修会2020年11月(鹿児島市)
25. 井上尚美, 性に関する課題と指導 将来を織りなす縦と横の糸. 鹿児島県総合教育センター 令和2年度新規採用養護教諭研修第3回校外研修, 2020年11月(鹿児島市)
26. 井上尚美, 性に関する指導. 子どもの誕生を通して, 自他のいのちの大切さ, かけがえのなさについて考える. 鹿児島市皇徳寺中学校 性に関する指導講話, 2020年12月(鹿児島市)

【その他】

(報告書等)

- ・ 根路銘安仁, 他. 鹿児島県医師会 一般臨床医向けの子どもの虐待の早期発見対応マニュアル
- ・ 根路銘安仁, 他. 鹿児島県くらし保健福祉部健康増進課 HTLV-1 感染対応マニュアル

(座長等)

- ・ 根路銘安仁, 第67回日本小児保健協会学術集会日本精神保健看護学会, 教育講演9「思春期女性の性の健康を守るには」早乙女智子, 2020年11月(福岡, Web)

(研修会等)

- ・ 中尾優子, 教育課程(助産師), 鹿児島県看護協会講習会, 2020年11月(鹿児島市)
- ・ 若松美貴代, 令和2年度特定分野における実習指導者講習会7月15日~7月31日(鹿児島市)
- ・ 若松美貴代, 公開講座 マタニティライフを楽しもう「今だから知りたい!わたしのこころのこころ」2020年8月8日(オンライン開催)

〔地域包括看護学講座〕

【論文著書】

(英文論文)

1. Ojima S, Kubozono T, Kawasoe S, Kawabata T, Miyata M, Miyahara H, Maenohara S, Ohishi M, Association of risk factors for atherosclerosis, including high-sensitivity C-reactive protein, with carotid intima-media thickness, plaque score, and pulse wave velocity in a male population. *Hypertens Res*, 43(5): 422-430; 2020
2. Miki Marutani, Shimpei Kodama, Nahoko Harada. Japanese public health nurses' culturally sensitive disaster nursing for small island communities. *Island Studies Journal*, 15(1): 371-386, 2020
3. Misako Hisamatsu, Hiroyuki Shinchi, Yumiko Tsutsumi: Experiences of spouses of patients with cancer from the notification of palliative

業績目録

chemotherapy discontinuation to bereavement: A qualitative study. *European Journal of Oncology Nursing*.45. 1-6, 2020.

4. Akiko Mizuta, Jun Aida, Mieko Nakamura, Toshiyuki Ojima. Does the Association between Guardians' Sense of Coherence and their Children's Untreated Caries Differ According to Socioeconomic Status? *Int. J. Environ. Res. Public Health*, 2020, 17(5), 1619; <https://doi.org/10.3390/ijerph17051619-03>.

(和文論文)

1. 岩永成晃, 宮田昌明, 早坂信哉, 妊婦の温泉浴の安全性の検討. *日本温泉気候物理医学会雑誌* 83(3): 140-150; 2020
2. 下吹越直子, 兒玉慎平, 八代利香. ケアマネジャーの基礎資格による訪問看護導入の判断要因の相違. *日本職業・災害医学会誌*, 68(5): 283-290,2020
3. 井上尚美, 中尾優子, 兒玉慎平, 吉留厚子. 離島に在住する妊婦のマタニティクラス参加状況と課題 A 町の母親への調査より. *母性衛生*, 61(2): 314-321,2020
4. 平田直美, 久松美佐子, 堤由美子, 特定保健指導利用者の健診受診から指導利用に至るプロセスの質的分析. *社会医学研究* 37(1): 45-59,2020
5. 荒井春生, 久松美佐子, 植田麻実, 斎藤康司, 五藤信子, 池田成幸, 白石洋二, 小佐野智子, 単科精神科病院看護師へのフィジカルアセスメント供花育成プログラムの開発とその評価, 第27回日本精神科看護専門学術集会研究助成論文, 16-21,2020
6. 益満智美, 木佐貫彰, 宮田昌明, 丹羽さよ子, 循環器疾患をもつ高齢患者のフレイルと生活の関係: 入院から退院3か月後の縦断的調査による検討, *鹿児島大学医学雑誌* (2021年1月)
7. 中嶋貴子, 山下亜矢子, 精神看護領域における看護学生のコミュニケーションスキル向上を目的とした教育方法に関する文献レビュー, *インターナショナル Nursing Care Research*, 19 (3): 81-90,2020

(和文著書)

1. 宮田昌明, 高血圧・脂質異常症・糖尿病・CKDの診断基準, 【よくわかる】高血圧と循環器病の予防と管理 第2版 (高血圧・循環器病予防療養指導士認定委員会 編 社会保険研究所, 東京) p.92-101,2020

【学会発表】

(国際学会)

1. Ayako Yamashita, Optimal Recovery Support for Females with Alcohol Use Disorder Based on Survivor Narratives. 23rd East Asian forum of Nursing Scholars, 2020年1月 (Thailand, Chiang Mai)
2. Ayako Yamashita, Yuka Okazaki, Naomi Hara, Satoko Kajitani, Natsuki Senoo, Stress Management Methods Adopted by Senior High School Students. 23rd East Asian forum of Nursing Scholars, 2020年1月 (Thailand, Chiang Mai)

(国内学会)

1. 宮田昌明, リスク重複の概念とリスクアセスメント (高血圧・循環器病予防療養指導士セミナー), 第52回日本動脈硬化学会総会・学術集会, 2020年7月 (名古屋)
2. 楠元裕佳, 宮菌幸江, 中尾優子, 兒玉慎平, 折田美千代, 井上尚美, 根路銘安仁, 前野さとみ, 市村カツ子. 研究お助けサロンの活動と今後の課題. 第52回日本医学教育学会大会, 2020年7月 (鹿児島市) 誌上発表
3. 金子美千代, 丹羽さよ子: 島嶼における看護学実習の学習成果, 第52回日本医学教育学会, 2020年7月 (鹿児島市)
4. 春田陽子, 丹羽さよ子: 認知症高齢者に対する回想法の効果—訪問看護への活用の試み—, 第40回日本看護科学学会学術集会, 2020.12
5. Yoshimoto I, Oketani N, Tagata K, Yokomine T, Nomoto Y, Omure K, Chaen H, Kawazoe M, Ogawa M, Miyata M, Ohishi. M, Atrial fibrillation termination caused by electrogram based ablation; compared with CFAE v.s. CFAE+dispersion, 第84回日本循環器学会学術集会, 2020年7月 (京都)
6. Yoshimoto I, Inoue K, Kitagaki R, Okada M, Tanaka N, Toyoshima Y, Oka T, Tanaka K, Okamura A, Iwakura K, Fujii K, Oketani N, Ichiki H, Miyata M, Ohishi M, Transition of red cell distribution width before and after catheter ablation for atrial fibrillation is an independent predictor for recurrence, 第84回日本循環器学会学術集会, 2020年7月 (京都)
7. 山下亜矢子, 中嶋貴子, 当事者参加型授業においてリカバリーストーリーを聴くことによる看護学生の学び, 第40回日本看護科学学会学術集会, 2020年12月 (オンライン開催)
8. 中嶋貴子, 山下亜矢子, 精神看護学におけるナラティブ教材使用授業による学生の学修成果, 第40回日本看護科学学会学術集会

業 績 目 録

会, 2020年12月 (オンライン開催)

9. 井上弘子, 山本智恵子, 中川彩見, 山本裕子, 丸山純子, 真壁五月, 吉田美穂, 山下亜矢子, 木下香織, 宮武一江, 災害サイクルと被災者の健康問題を生活の視点から展開する災害看護学演習の学修効果, 第40回日本看護科学学会学術集会, 2020年12月 (オンライン開催)
10. 久松美佐子, 江口真弥, 北山久美子, 堤由美子, 精神看護学実習の開始期に学生が対象との関係づくりで直面する戸惑いの検討, 第52回日本医学教育学会大会, 2020年7月 (鹿児島)
11. 久松美佐子, 末永真由美, 荒井春生, 吉元初美, 宮本陽子, 離島で生活する精神障害者の精神科訪問看護を利用後の認識の変化, 第27回日本精神科看護専門学術集会 in Web, 2020年12月
12. 荒井春生, 末永真由美, 久松美佐子, 吉元初美, 宮本陽子, 離島のグループホームで生活する精神障害者が感じる生活上の困難感, 第27回日本精神科看護専門学術集会 in Web, 2020年12月
13. 末永真由美, 久松美佐子, 荒井春生, 吉元初美, 宮本陽子, 離島のグループホームで生活する精神障害者の生活状況, 第27回日本精神科看護専門学術集会 in Web, 2020年12月
14. 益満智美, 丹羽さよ子, 循環器疾患患者における入院によるフレイルへの影響—共分散構造分析でのパス解析による検討—, 第40回日本看護科学学会学術集会, 2020年12月 (web 開催)
15. 日隈利香, 稲留直子, 鹿児島市の児童発達支援・放課後等デイサービス施設における災害への取り組みに関する研究, 日本発達障害学会 第55回研究大会, 2020年12月26日 (茨城県・オンライン開催)
16. 水田明子, 齊藤民, 尾島俊之, 近藤克則, 高齢者の介護開始による主観的健康感への影響第30回日本疫学会学術総会, 2020年2月21日 (京都市)

【講演】

1. 宮田昌明, 胸痛を主訴に来院した40歳代女性. 日本動脈硬化学会 メディカルスタッフ・若手育成部会主催メディカルスタッフカンファレンス in 東京, 2020年1月 (東京)
2. 宮田昌明, ヒートショック蛋白から紐解く温熱刺激の効果. 日本温泉気候物理医学会 温泉療法医会2019年度九州地区研修会, 2020年2月 (大分)
3. 宮田昌明, 血圧・脂質異常症・糖尿病の基本的検査の意義と結果の見方. 高血圧・循環器病予防療養指導士 Web セミナー, 2020年7月 (収録)
4. 宮田昌明, 心不全. 高血圧・循環器病予防療養指導士 Web セミナー, 2020年7月 (収録)
5. 丹羽さよ子, 教育課程 (老年看護), 鹿児島県看護協会実習指導者講習会, 2020年12月14日 (鹿児島市)
6. 山下亜矢子, ストレスマネジメント. 鹿児島大学病院看護部新人基礎研修, 2020年7月 (鹿児島市)
7. 山下亜矢子, 看護研究発表および講評とまとめ方. 一般社団法人日本精神科看護協会鹿児島県支部研修会, 2020年10月 (オンライン開催)
8. 兒玉慎平, 看護研究. 国立病院機構指宿医療センター看護部研修, 2020年3月, 7月 (指宿市)
9. 兒玉慎平, 文献検索演習～文献検索のポイント教えます～. 鹿児島大学病院看護部平成2年度看護研究セミナー, 2020年6月 (鹿児島市)
10. 兒玉慎平, レポートの書き方. 鹿児島県看護協会 認定看護管理者制度ファーストレベル講習, 2020年9月 (鹿児島市)
11. 久松美佐子, 看護研究の基礎. 鹿児島市医師会病院看護部クリティカルラダー研修会, 2020年8月26日 (鹿児島市)
12. 森隆子, 地域における看護活動を考える. 鹿児島県訪問看護ステーション協議会第20回研究発表会, 2020年2月8日 (鹿児島市)
13. 水田明子, 看護研究. 令和2年度鹿児島市保健師研究会キャリアラダー A-II 研修, 2020年8月 (鹿児島市)

【その他】

(報告書等)

- ・ 宮田昌明, よくわかる脳・血管疾患予防 心筋梗塞・動脈硬化. 国保かごしま 10月号: 34-36; 2020
- ・ 荒井春生, 久松美佐子, 植田麻実, 斎藤康司, 五藤信子, 池田成幸, 白石洋二, 小佐野智子, 単科精神科病院看護師へのフィジカルアセスメント供花育成プログラムの開発とその評価, 第27回日本精神科看護専門学術集会研究助成論文, 16-21, 2020
- ・ 日隈利香, 稲留直子, 鹿児島市の児童発達支援・放課後等デイサービス施設における災害への備えに関する研究, 鹿児島大学地域火山地域防災センター令和元年度報告書 74-79, 2020

業績目録

(座長等)

- ・ 宮田昌明, 第84回日本循環器学会学術集会, Cardiac Rehabilitation 2, 2020年7月(京都)
- ・ 宮田昌明, 第52回日本動脈硬化学会総会・学術集会, メディカルスタッフセッション1 メディカルスタッフカンファレンス, 2020年7月(名古屋)
- ・ 宮田昌明, 第6回日本心臓リハビリテーション学会九州支部地方会, シンポジウム1, 2020年11月(大分)
- ・ 宮田昌明, ARIA2020 in silico, 日本心臓リハビリテーション学会・ARIA2020ジョイントシンポジウム, 2020年11月(福岡)
- ・ 宮田昌明, 第129回日本循環器学会九州地方会, Case Report Award 4(心不全), 2020年12月(福岡)

(研修会等)

- ・ 宮田昌明, 心不全治療薬のパラダイムシフト, Kagoshima Innovative Pharmacists Meeting, 2020年9月(鹿児島市)
- ・ 久松美佐子, 看護研究の進め方・まとめ方(グループ指導)全10回, 鹿児島市医師会病院看護部研修, 2020年1月~2020年12月(鹿児島市)
- ・ 久松美佐子, 院内研究発表会, 鹿児島市医師会病院看護部研修, 2020年2月26日(鹿児島市)
- ・ 稲留直子, 鹿児島市新任保健師個別研修(通年, 全6回), 2020年(鹿児島市)
- ・ 森隆子, 鹿児島県訪問看護ステーション協議会研究アドバイザー(通年), 2020年(鹿児島市)
- ・ 水田明子, 第62回鹿児島県公衆衛生学会 発表審査, 2020年5月(鹿児島市)
- ・ 水田明子, 令和2年度第1回鹿児島市看護職員確保対策検討会, 2020年11月18日(鹿児島市)
- ・ 山下亜矢子, 看護研究研修. 地方独立行政法人岡山県精神科医療センター, 2020年1月~2020年3月(岡山市)
- ・ 山下亜矢子, 高校生のストレス対処方法に関する基礎的調査. 岡山県立大学地域連携推進センターコミュニティ家族ケア研究会, 2020年2月(総社市)

(受賞)

- ・ 森隆子, 日本島嶼学会研究奨励賞, 2020年9月5日(東京都)

〔理学療法学専攻〕

【論文著書】

1. (和文著書)
2. 岡本裕嗣, 遺伝子医学 MOOK35 ミトコンドリアと病気 ミトコンドリア病とニューロパーチー(村山圭, 小坂仁, 三牧正和 編 メディカルドゥ 大阪) p.143-149, 2020
3. 牧迫飛雄馬, 第3章 職業倫理, PT・OT ビジュアルテキストリハビリテーション管理学(齋藤昭彦, 下田信明 編 羊土社, 東京) p.36-37, 2020
4. 牧迫飛雄馬, 第2部 障害別の運動療法の基礎と臨床実践 II 機能・構造障害 11 認知機能障害, 障害別 運動療法学の基礎と臨床実践(木村貞治, 高橋哲也, 内昌之 編 金原出版, 東京) p.513-533, 2020
5. 牧迫飛雄馬, 社会的フレイルとは, 日本サルコペニア・フレイル学会認定 サルコペニア・フレイル指導士テキスト(日本サルコペニア・フレイル学会 編 新興医学出版社, 東京) p.123-125, 2020
6. 牧迫飛雄馬, 第2部 予防理学療法の役割 第3章 高齢期における予防理学療法 3-4. 認知症防, 予防と産業の理学療法(樋口由美, 浅田史成, 牧迫飛雄馬 編 南江堂, 東京) p.59-72, 2020
7. 牧迫飛雄馬, 第1部 予防理学療法・産業理学療法とは 第1章 予防理学療法とは 1-2. 医療における予防理学療法, 予防と産業の理学療法(樋口由美, 浅田史成, 牧迫飛雄馬 編 南江堂, 東京) p.9-11, 2020.
8. 牧迫飛雄馬, 第1章 総論 1. 高齢者の特徴 3. フレイルとサルコペニア, Crosslink 理学療法学テキスト 高齢者理学療法学(池添冬芽 編 メディカルビュー社, 東京) p.15-24, 2020
9. 牧迫飛雄馬, 第2章 高齢者の機能評価 3 高齢者の認知機能 精神・心理機能評価, Crosslink 理学療法学テキスト 高齢者理学療法学(池添冬芽 編 メディカルビュー社, 東京) p.176-194, 2020
10. 牧迫飛雄馬, 事例集 フレイル高齢者に対する多面的アプローチ, Crosslink 理学療法学テキスト 高齢者理学療法学(池添冬芽

業績目録

編 メディカルビュー社, 東京) p.372-377,2020

11. 能登真一, 小林法一, 石附智奈美, 長谷麻由, 大渡昭彦, 仙波浩幸, 西潟央, 松本昇, 藤野雄次, 豊田輝, 岩崎裕子, 野添匡史, 平岩和美, 泉良太, 岩波潤, 仙石泰仁, 五百川和明, 東登志夫, 原田浩美, 標準理学療法学・作業療法学・言語聴覚障害学 別巻 リハビリテーション管理学 (齊藤秀之, 能登真一 編 医学書院, 東京) p.66-69,2020

(英文論文)

1. Sawada J, Katayama T, Tokashiki T, Kikuchi S, Kano K, Takahashi K, Saito T, Adachi Y, Okamoto Y, Yoshimura A, Takashima H, Hasebe N, The First Case of Spinocerebellar Ataxia Type 8 in Monozygotic Twins. *Internal Medicine*, 59(2): 277-283, 2020
2. Ishihara S, Okamoto Y, Tanabe H, Yoshimura A, Higuchi Y, Yuan JH, Hashiguchi A, Ishiura H, Mitsui J, Suwazono S, Oya Y, Sasaki M, Nakagawa M, Tsuji S, Ohya Y, Takashima H, Clinical Features of Inherited Neuropathy With BSCL2 Mutations in Japan. *J peripher nerv syst*, 25(2): 125-131, 2020
3. Taniguchi T, Ando M, Okamoto Y, Yoshimura A, Higuchi Y, Hashiguchi A, Shiga K, Hayashida A, Hatano T, Ishiura H, Mitsui J, Hattori N, Mizuno T, Masanori Nakagawa, Tsuji S, Takashima H, Genetic spectrum of Charcot-Marie-Tooth disease associated with myelin protein zero gene variants in Japan. *Clin Genet*, Nov 11: Online ahead of print, 2020
4. Inoue T, Okamura M, Kitahara M, Takamatsu Y, Sakakima H, Maejima H. Exercise plus pharmacological neuromodulation of synaptic inhibition enhance motor function recovery after ischemic stroke. *Neuroscience*, 430: 12-24, 2020
5. Takada S, Sakakima H, Matsuyama T, Otsuka S, Nakanishi K, Norimatsu K, Itashiki Y, Tani A, Kikuchi K. Disruption of Midkine gene reduces traumatic brain injury through the modulation of neuroinflammation. *J Neuroinflammation*, 17(1): 40, 2020
6. Kikuchi K, Setoyama K, Takada S, Otsuka S, Nakanishi K, Norimatsu K, Tani A, Sakakima H, Kawahara KI, Hosokawa K, Kiyama R, Sumizono M, Tancharoen S, Maruyama I, Hattori G, Morioka M, Tanaka E, Uchikado H. E8002 Inhibits Peripheral Nerve Adhesion by Enhancing Fibrinolysis of l-Ascorbic Acid in a Rat Sciatic Nerve Model. *Int. J. Mol. Sci*, 21, 3972, 2020
7. Sakakima H, Takada S, Norimatsu K, Otsuka S, Nakanishi K, Tani A. Diurnal Profiles of Locomotive and Household Activities Using an Accelerometer in Community-Dwelling Older Adults with Musculoskeletal Disorders: A Cross-Sectional Survey. *Int J Environ Res Public Health*, 17(15): 5337, 2020
8. Makizako H, Nakai Y, Tomioka K, Taniguchi Y, Sato N, Wada A, Kiyama R, Tsutsumimoto K, Ohishi M, Kiuchi Y, Kubozono T, Takenaka T, Effects of a Multicomponent Exercise Program in Physical Function and Muscle Mass in Sarcopenic/Pre-Sarcopenic Adults. *J Clin Med*, 9(5): pii: E1386, 2020
9. Hirase T, Makizako H, Okubo Y, Lord SR, Okita M, Nakai Y, Takenaka T, Kubozono T, Ohishi M, Falls in Community-Dwelling Older Adults with Lower Back or Knee Pain Are Associated with Cognitive and Emotional Factors. *Int J Environ Res Public Health*, 17(14): pii: E4960, 2020
10. Makizako H, Nakai Y, Tomioka K, Taniguchi Y, Sato N, Wada A, Kiyama R, Tsutsumimoto K, Ohishi M, Kiuchi Y, Kubozono T, Takenaka T, Effects of a Multicomponent Exercise Program in Physical Function and Muscle Mass in Sarcopenic/Pre-Sarcopenic Adults. *J Clin Med*, 9(5): pii: E1386, 2020
11. Maruta M, Makizako H, Ikeda Y, Miyata H, Nakamura A, Han G, Shimokihara S, Tokuda K, Kubozono T, Ohishi M, Tomori K, Tabira T, Associations between Depressive Symptoms and Satisfaction with Meaningful Activities in Community-Dwelling Japanese Older Adults. *J Clin Med*, 9(3): pii: E795, 2020
12. Kim MJ, Tsutsumimoto K, Doi T, Nakakubo S, Kurita S, Makizako H, Shimada H, Relationships between cognitive leisure activities and cognitive function in older adults with depressive symptoms: a cross-sectional study. *BMJ Open*, 10(2): e032679, 2020
13. Kawada M, Takeshita Y, Miyazaki T, Nakai Y, Hata K, Nakatsuji S, Kiyama R, Contribution of hip and knee muscles to lateral knee stability during gait. *J Phys Ther Sci*, 32(11): 729-734, 2020
14. Kikuchi K, Setoyama K, Otsuka S, Nakanishi K, Norimatsu K, Tani A, Sakakima H, Kawahara K, Hosokawa K, Kiyama R, Sumizono M, Tancharoen S, Maruyama I, Hattori G, Morioka M, Tanaka E, Uchikado H, E8002 inhibits peripheral nerve adhesion by enhancing fibrinolysis of l-ascorbic acid in a rat sciatic nerve model. *Int J Mol Sci*, 21(11): 3972, 2020
15. Saida T, Kawada M, Kuroki D, Nakai Y, Miyazaki T, Kiyama R, Tsuneyoshi Y, Accelerometer measurement of trunk lateral fluctuation during walking following total knee arthroplasty in patients with osteoarthritis. *J Aging Phys Act*, 28(5): 669-674, 2020
16. Araki S, Kawada M, Miyazaki T, Nakai Y, Takeshita Y, Matsuzawa Y, Yamaguchi Y, Ohwatashi A, Tojo R, Nakamura T, Nakatsuji S, Kiyama R, Effect of functional electrical stimulation of the gluteus medius during gait in patients following a stroke. *BioMed Research*

業績目録

International, 2020: 8659845, 2020

17. Miyazaki T, Kawada M, Kiyama R, Yone K, Validity of two-dimensional analysis for estimation of foot arch height during walking using a tablet computer. J Phys Ther Sci, In press

(和文論文)

1. 菊池晃, 岡本裕嗣, 橋口裕, 吉重幸一, 谷口雄大, 出口尚寿, 高嶋博, 西尾善彦, 認知機能低下を契機に発見された ミトコンドリア糖尿病の1例, 糖尿病63(5): 344-349, 2020
2. 中井雄貴, 富岡一俊, 谷口善昭, 木山良二, 佐藤菜々, 和田あゆみ, 窪菌琢郎, 大石充, 牧迫飛雄馬, 地域在住高齢者における腰痛および膝痛と身体機能との関連—急性および慢性疼痛が歩行速度や握力に及ぼす影響—, 理学療法学第47(2): 146-152, 2020
3. 中辻晋太郎, 木山良二, 川田将之, 久保田正一, 吉元洋一, 貴嶋芳文, 秦一貴, 亀田友愛, 菊池春菜, Bennett lesion に起因する棘上筋の internal impingement が症状の原因と思われた社会人野球投手に対する治療経験, 理学療法学47(6): 600-608, 2020
4. 亀田友愛, 秦一貴, 木山良二, 川田将之, 菊池春菜, 吉元洋一, 米和徳, 筋骨格モデリングシステムを用いた股関節に作用する関節反力の推定 両側変形性股関節症に対し両側人工股関節全置換術が二期的に施行された症例, 臨床と理学療法 7(1): 3-9, 2020
5. 中辻晋太郎, 木山良二, 川田将之, 竹下康文, 松澤雄太, 貴嶋芳文, 吉元洋一, 床反力推定を用いた筋骨格モデルシミュレーションによる腰部負荷定量化の妥当性, 臨床と理学療法 7(1): 10-18, 2020
6. 松澤雄太, 貴嶋芳文, 米良隼紀, 福永誠司, 中辻晋太郎, 川田将之, 木山良二, 脳卒中片麻痺歩行の定常性・対称性と下肢運動および筋活動との関係, 臨床と理学療法 7(1): 19-27, 2020
7. 松尾厚, 松藤祐一郎, 川田将之, 回復期リハビリテーション病棟入院患者に対するリハビリテーションとビタミンD高含栄養補助食品の併用による効果, 総合リハビリテーション48(5): 477-482, 2020

【学会発表】

(国際学会)

1. Satoshi Nagano, Toshitaka Futagawa, Eriko Sumi, Nobuhiro Ijichi, Munekazu Yamakuchi, Masanori Nakajo, Teruto Hashiguchi, Yasuo Takeda, Takashi Yoshiura, Akira Shimizu, Muneo Takatani, Setsuro Komiya, and Ken-ichiro Kosai, Survivin-responsive conditionally replicating adenovirus for patients with advanced sarcoma demonstrated potent and long-term efficacy and high safety in a phase I clinical trial. 2020 ASCO (American Society of Clinical Oncology) Annual Meeting, 2020年5月 (Virtual meeting)
2. Tachibanaki Y, Nakanishi K, Tamaru T, Zenpuku D, Kimura R, Adachi T, Kiyama R, Sakakima H, Tanabe F, Ijiri K, Pelvic and trunk rotation has a kinetic effect on shoulder abduction angle during baseball pitching: Kinematic study for growing baseball pitchers. ECSS Congress, 2020年10月 (SEVILLIA, SPAIN)

(国内学会)

1. 岡本裕嗣, シンポジウム14 ニューロパチーにおける病態解明と治療の最前線シャルコー・マリー・トゥース病 (CMT) と遺伝性圧脆弱性ニューロパチー (HNPP): 診断の進歩と治療の試み, 第61回日本神経学会学術大会, 2020年8月 (岡山)
2. 岡本裕嗣, シンポジウム8 「チャレンジ! 遺伝性末梢神経疾患治療」 Charcot-Marie-Tooth 病の治療研究の現状, 第38回日本神経治療学会, 2020年10月 (東京)
3. 町田透, 篠原直弘, 三重岳, 佐々木裕美, 永野聡, 谷口昇, 超音波内視鏡下穿刺吸引法による細胞診にて迅速に診断治療が可能であった原発不明がんの1例, 第139回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2020年6月 (誌上開催)
4. 佐々木裕美, 篠原直弘, 永野聡, 谷口昇, 当地域での unplanned surgery の実際と当科にて追加治療を行った症例の検討, 第53回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会, 2020年9月 (Web 開催)
5. 篠原直弘, 佐々木裕美, 永野聡, 谷口昇, メッシュを用いて胸壁再建を行った骨・軟部肉腫の6例, 第53回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会, 2020年9月 (Web 開催)
6. 山田佳奈, 篠原直弘, 佐々木裕美, 富永博之, 三重岳, 永野聡, 谷口昇, 仙椎椎弓に発生し術前診断が困難であった osteoblastoma の一例, 第140回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2020年11月 (大分)
7. 佐々木裕美, 徳本寛人, 篠原直弘, 永野聡, 谷口昇, 瀬戸口啓夫, 未分化多形肉腫において neurotensin receptor1阻害は抗がん剤の治療効果を高める, 第35回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020年11月 (Web 開催)

業 績 目 録

8. 池田真一, 榑間春利, 臨床実習における学生の自己効力感の向上は心理的ストレスを軽減する, 第52回日本医学教育学会大会, 2020年7月(鹿児島市・誌上発表)
9. Seiya Takada, Takahiro Matsuyama, Shotaro Otsuka, Kazuki Nakanishi, Kosuke Norimatsu, Yuki Itashiki, Akira Tani, Kiyoshi Kikuchi, Harutoshi Sakakima, Midkine gene deficiency attenuates traumatic brain injury through regulation of microglia and macrophage polarization, 第43回日本神経科学学会, 2020年7月(兵庫)
10. Shotaro Otsuka, Akira Tani, Yuki Itashiki, Kosuke Norimatsu, Seiya Takada, Kazuki Nakanishi, Maruyama Ikuro, Harutoshi Sakakima, Effects of detraining on neuroprotective effects due to preconditioning exercise-induced brain tolerance after ischemic stroke of rat, 第43回日本神経科学学会, 2020年7月(兵庫)
11. Akira Tani, Yuki Itashiki, Shotaro Ohtsuka, Seiya Tankada, Kazuki Nakanishi, Kosuke Norimatsu, Harutoshi Sakakima, The neuroprotective effects of remote ischemic per-conditioning on focal brain ischemia of rats, 第43回日本神経科学学会, 2020年7月(兵庫)
12. 白元勇次郎, 井尻幸成, 榑間春利, 当院における成長期サッカー選手のスポーツ外傷・障害の特徴, 第18回 JOSSM-KOSSM Combined Meeting, 2020年6月(北海道)
13. 木内悠人, 谷口善昭, 中井雄貴, 富岡一俊, 佐藤菜々, 和田あゆみ, 牧迫飛雄馬, 筋量低下を有する地域在住高齢者における α アクチニン3遺伝子多型と大腿部筋体積および身体能力との関係, 第33回鹿児島県理学療法士学術大会, 2020年2月(鹿児島市)
14. 佐藤菜々, 牧迫飛雄馬, 牧野圭太郎, 島田裕之, 地域在住高齢者における身体活動量と運動機能及び脳実質変化の関係性, 第33回鹿児島県理学療法士学術大会, 2020年2月(鹿児島市)
15. 牧迫飛雄馬, 田平孝行, 沖利通, 根路銘安仁, 保健系大学院におけるディプロマ・ポリシー到達度に対する学生自己評価とその関連要因, 第52回日本医学教育学会大会, 2020年7月(鹿児島市・誌上発表)
16. 川添晋, 窪蘭琢郎, 牧迫飛雄馬, 桑波田聡, 竹中俊宏, 小島聡子, 川畑孟子, 大石充, 高齢者における同居者の有無とJST版活動能力指標スコアとの関連, 第26回日本心臓リハビリテーション学会学術集会, 2020年7月(Web開催)
17. 和田あゆみ, 牧迫飛雄馬, 中井雄貴, 富岡一俊, 谷口善昭, 佐藤菜々, 田平隆行, 窪蘭琢郎, 竹中俊宏, 大石充, 地域在住高齢者における就労状況と精神・心理的指標との関連, 第62回日本老年医学会学術集会, 2020年8月(東京・誌上発表)
18. 谷口善昭, 牧迫飛雄馬, 富岡一俊, 中井雄貴, 佐藤菜々, 和田あゆみ, 川田将之, 窪蘭琢郎, 竹中俊宏, 大石充, 筋力が低下した地域在住高齢者における α アクチニン3遺伝子多型と下肢周囲長との関係, 第62回日本老年医学会学術集会, 2020年8月(東京・誌上発表)
19. 中井雄貴, 牧迫飛雄馬, 富岡一俊, 谷口善昭, 佐藤菜々, 和田あゆみ, 桑波田聡, 窪蘭琢郎, 竹中俊宏, 大石充, 地域高齢者における睡眠と筋力および筋量低下との関連, 第62回日本老年医学会学術集会, 2020年8月(東京・誌上発表)
20. 手塚綾乃, 桑波田聡, 堂蘭直樹, 立志公志郎, 毛利翔悟, 中井雄貴, 牧迫飛雄馬, 窪蘭琢郎, 大石充, 地域在住高齢者における睡眠時間身体的フレイルとの関係—垂水研究からの報告—, 第62回日本老年医学会学術集会, 2020年8月(東京・誌上発表)
21. 牧迫飛雄馬, 中井雄貴, 富岡一俊, 谷口善昭, 佐藤菜々, 和田あゆみ, 木山良二, 木内悠人, 堤本広大, 竹中俊宏, 地域在住高齢者の身体機能および大腿筋量に対する運動介入効果—ランダム化比較対照試験—, 第62回日本老年医学会学術集会, 2020年8月(東京・誌上発表)
22. 中村篤, 牧迫飛雄馬, 丸田道雄, 宮田浩紀, 田平隆行, 運転を中断した地域在住高齢者の生活上重要な作業の特徴および抑うつの関連, 第54回日本作業療法学会, 2020年9月(Web開催)
23. 丸田道雄, 牧迫飛雄馬, 中村篤, 大勝秀樹, 田平隆行, フレイル状態の地域在住高齢者が生活の中で重要とする活動の特徴, 第4回日本作業療法学会, 2020年9月(Web開催)
24. 叶内宏明, 鈴木太朗, 山下三香子, 改元香, 牧迫飛雄馬, 田平隆行, 郡山千早, 竹中俊宏, 窪蘭琢郎, 大石充, 垂水市在住高齢女性におけるたんぱく質およびマグネシウム摂取量とプレフレイルの関連, 第67回日本栄養改善学会学術総会, 2020年9月(札幌・誌上発表)
25. 木内悠人, 牧迫飛雄馬, 中井雄貴, 富岡一俊, 谷口善昭, 佐藤菜々, 和田あゆみ, 竹中俊宏, 窪蘭琢郎, 大石充, 地域在住高齢者における認知的フレイルと手段的日常生活動作能力の関係, 第7回日本予防理学療法学会学術大会, 2020年9月(Web開催)
26. 佐藤菜々, 牧迫飛雄馬, 中井雄貴, 富岡一俊, 谷口善昭, 和田あゆみ, 木山良二, 窪蘭琢郎, 竹中俊宏, 大石充, 地域在住高齢者における筋量および筋力と歩行パラメータとの関連性, 第7回日本予防理学療法学会学術大会, 2020年9月(Web開催)
27. 牧迫飛雄馬, 中井雄貴, 桑波田聡, 富岡一俊, 谷口善昭, 佐藤菜々, 和田あゆみ, 竹中俊宏, 窪蘭琢郎, 大石充, 地域在住高齢者の睡眠と主観的健康感, 第7回日本予防理学療法学会学術大会, 2020年9月(Web開催)

業績目録

28. 赤井田将真, 牧迫飛雄馬, 中井雄貴, 富岡一俊, 谷口善昭, 佐藤菜々, 和田あゆみ, 丸田道雄, 田平隆行, 地域在住高齢者における意味のある活動の満足度とフレイルの関係, 第14回日本作業療法研究学会学術集会, 2020年11月 (Web 開催)
29. 原田雄大, 大渡昭彦, 上川百合恵, 吉田輝, 下堂蘭恵, 霊長類脳梗塞モデルによる長期行動観察と慢性期リハビリテーションとMRI画像, 第57回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2020年8月 (京都)
30. 宮良広大, 衛藤誠二, 河村健太郎, 大渡昭彦, 丸山敦夫, 下堂蘭恵, 健康成人の下肢に対する全身振動刺激が皮質内および脊髄興奮性に及ぼす影響: 予備的研究, 日本臨床神経生理学会学術大会第50回記念大会, 2020年11月 (京都)
31. 竹下康文, 木山良二, 宮崎宣丞, 荒木草太, 川田将之, 中井雄貴, 富岡一俊, 谷口善昭, 竹中俊宏, 牧迫飛雄馬, 地域在住高齢者における歩行の対称性と下肢筋量の左右差の関連, 第62回日本老年医学会学術集会, 2020年8月 (Web 開催)
32. 宮崎宣丞, 木山良二, 竹下康文, 荒木草太, 川田将之, 中井雄貴, 富岡一俊, 谷口善昭, 竹中俊宏, 牧迫飛雄馬, 地域在住高齢者における歩行の定常性, 対称性と認知機能の関連, 第62回日本老年医学会学術集会, 2020年8月 (Web 開催)
33. 荒木草太, 木山良二, 牧迫飛雄馬, 川田将之, 宮崎宣丞, 竹下康文, 中井雄貴, 林浩之, 東直人, 窪蘭琢郎, 中村俊博, 竹中俊宏, 大石充, 地域在住高齢者における加齢による歩容の変化, 第57回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2020年8月 (京都, Web 開催)
34. 才田剛志, 須田憲司, 弓木野勇次, 木山良二, 菅田淳, 有田和徳, 生理学的足継手付き短下肢装具の継手の運動軸が下肢運動に及ぼす影響, 第36回日本義肢装具学会, 2020年11月 (東京, Web 開催)
35. 宮崎宣丞, 木山良二, 竹下康文, 川田将之, 中井雄貴, 荒木草太, 林浩之, 東直人, 山口祐弥, 牧迫飛雄馬, 地域在住高齢者における最大歩行中の WalkRatio に影響する因子の検討, 第4回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, 2020年11月 (兵庫, Web 開催)
36. 荒木草太, 木山良二, 牧迫飛雄馬, 川田将之, 宮崎宣丞, 竹下康文, 中井雄貴, 林浩之, 東直人, 窪蘭琢郎, 中村俊博, 竹中俊宏, 大石充, 地域在住高齢者における加齢による歩容の変化, 第4回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, 2020年11月 (兵庫・Web 開催)
37. 松澤雄太, 米良隼紀, 宮崎宣丞, 山口祐弥, 竹下康文, 荒木草太, 中辻晋太郎, 貴嶋芳文, 川田将之, 木山良二, 脳卒中片麻痺歩行の下肢伸展角に影響を及ぼす因子の検討, 第18回日本神経理学療法学会学術大会, 2020年11月 (京都, Web 開催)
38. 荒木草太, 松浦央憲, 下村郷, 東條竜二, 川田将之, 竹下康文, 松澤雄太, 山口祐弥, 宮崎宣丞, 大渡昭彦, 中村俊博, 木山良二, 脳卒中片麻痺者の歩行に対する歩行補助具と電気刺激の併用効果, 第18回日本神経理学療法学会学術大会, 2020年11月 (京都, Web 開催)
39. 西川智喜, 橋口伸吾, 川田将之, 中辻晋太郎, 竹下康文, 中井雄貴, 宮崎宣丞, 荒木草太, 佐々木聡, 木山良二, バドミントンのスプリットステップ中の筋腱弾性エネルギーの分析, 第25回日本理学療法学術大会, 2020年12月 (Web 開催)
40. 山口祐弥, 内匠正武, 村上勇太, 指宿勝巳, 川田将之, 宮崎宣丞, 荒木草太, 竹下康文, 松澤雄太, 木山良二, 脳卒中片麻痺患者の起き上がり動作時の下肢・体幹運動の分析—自立群, 非自立群の比較—, 第25回日本理学療法学術大会, 2020年12月 (Web 開催)

【講演】

1. 牧迫飛雄馬, 新型コロナに負けない! 健康・体力増進やさしい運動で健康寿命を延ばそう! ~運動の効果と実践~. 九州地区国立大学間連携事業・令和2年度市民シンポジウム, 2020年12月 (鹿児島市)
2. 牧迫飛雄馬, 「いまから始めよう! 楽しくできる認知症予防~コグニサイズ~」. 長浜市・長浜市認知症関係者連絡協議会, 2020年11月 (滋賀)
3. 牧迫飛雄馬, フレイル・サルコペニアの変遷と今後の展望. 第113回理学療法科学学会学術大会 (Web 開催), 2020年11月 (栃木)
4. 牧迫飛雄馬, 生活期は運動量さえ増えればいいのか? データ編重主義へのアンチテーゼ. 第18回日本神経理学療法学会学術大会 (Web 開催), 2020年11月 (京都)
5. 牧迫飛雄馬, 介護予防のあり方とフレイル対策. 第28回全道学術研修大会・第2回道東支部学術研修大会 (Web 開催), 2020年10月 (北海道)
6. 牧迫飛雄馬, 谷口善昭, 高齢期におけるオステオサルコペニアのリスクと予防対策. 第22回日本骨粗鬆症学会・第38回日本骨代謝学会学術集会 (Web 開催), 2020年10月 (兵庫)
7. 牧迫飛雄馬, 令和2年度「脳活性チャレンジ講座・楽しくできる認知症予防~コグニサイズで認知症を予防しよう~」. 鹿児島市北部保健センター, 2020年10月 (鹿児島市)

業 績 目 録

8. 牧迫飛雄馬, 人口減少高齢社会における介護予防のあり方と理学療法士の役割. 公益財団法人福岡県理学療法士会, 2020年2月(福岡)
9. 牧迫飛雄馬, 県民公開講座 認知症予防のための運動療法. 公益財団法人佐賀県理学療法士会, 2020年2月(佐賀)
10. 大渡昭彦, 県民健康プラススキルアップ研修会「運動をやる気にさせて健康寿命を延ばそう」. 鹿児島県, 2020年1月(鹿児島市)

【その他】

(報告書等)

- ・ 牧迫飛雄馬, サルコサイズ手帳(牧迫飛雄馬・著, ISBN978-4-907952-24-2), 2020
- ・ 牧迫飛雄馬, リハビリテーション職種が知っておくべき臨床統計:基礎から最新の話まで 4. 母集団とサンプル, パラメータの推定. CLINICAL REHABILITATION 30(1):71-75,2020
- ・ 牧迫飛雄馬, 高齢者の運動習慣を促進する指導のポイント. 老年内科 2(4):480-486,2020
- ・ 牧迫飛雄馬, 富岡一俊, PART1術前の準備 3 理学療法士の役割. LiSA 周術期管理を核とした総合誌. メディカル・サイエンス・インターナショナル 27(別冊):17-20,2020
- ・ 牧迫飛雄馬, 第6回日本サルコペニア・フレイル学会大会レポート. 日本サルコペニア・フレイル学会誌(JJASF) 4(1):78-79,2020
- ・ 牧迫飛雄馬, コグニサイズ~認知機能低下の抑制を目指した運動プログラム. CLINIC Magazine No.611:9-13,2020
- ・ 牧迫飛雄馬, 握力と身体機能の測定法. 内科総合誌 Medical Practice 37(5):701-704,2020

(座長等)

- ・ 榊間春利, 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020年12月(宮城 Web 開催)
- ・ 牧迫飛雄馬, 第7回日本地域理学療法学会, 特別シンポジウム COVID-19と地域理学療法~特別チームの活動と地域における課題~, 2020年11月.(埼玉 Web 開催)

(研修会等)

- ・ 大重匡, 基礎理学療法学, 宮崎県立都城高等学校出前講義, 2020年9月(宮崎)
- ・ 大重匡, 基礎理学療法学, 宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校出前講義, 2020年11月(宮崎)
- ・ 牧迫飛雄馬, コロナ禍でのライフスタイル変化に対する健康支援. 鹿児島県健康づくり運動指導者協議会 令和2年第2回全体講習会, 2020年12月(鹿児島市)
- ・ 牧迫飛雄馬, 健康寿命延伸のためのサルコペニア・フレイル対策. NPO 法人日本健康運動指導士会, 2020年10月(島根)
- ・ 牧迫飛雄馬, 認知機能低下を予防する運動プログラム作成のポイント及び実践. 公益財団法人健康・体力づくり事業財団, 2020年2月(石川)
- ・ 牧迫飛雄馬, 認知症予防における理学療法~その理論と実践~. 公益財団法人静岡県理学療法士会, 2020年1月(静岡)
- ・ 牧迫飛雄馬, 健康寿命延伸のためのサルコペニア・フレイル対策. 公益財団法人健康・体力づくり事業財団, 2020年1月(東京)
- ・ 大渡昭彦, 臨床実習指導者講習会「理学療法士・作業療法士養成施設における臨床実習制度の理念と概要」. 鹿児島県理学療法士会, 2020年2月(奄美市)
- ・ 大渡昭彦, 鹿児島市高齢者スポーツ指導者研修会. 鹿児島市, 2020年6月(鹿児島市)
- ・ 大渡昭彦, 「みんな一緒によかよか体操」2020年1月~3月連載, 南日本新聞社
- ・ 松田史代, 「臨床実習の到達目標と修了基準」. 鹿児島県臨床実習指導者養成研修会, 2020年2月(奄美市)
- ・ 松田史代, 「身体障害」. 鹿児島県障がい者スポーツ指導員養成講習会, 2020年10月(鹿児島市)

(班会議発表等)

- ・ 岡本裕嗣, 「多様なミトコンドリア病の遺伝子型/表現型/自然歴等をガイドラインに反映させていくエビデンス創出研究」. ミトコンドリア関連ニューロパシー AMED 難治性疾患実用化研究事業 村山班, 2020年10月(Web)

〔作業療法学専攻〕

【論文著書】

(和文著書)

1. 赤崎安昭 (専門医制度試験委員会), 日本精神神経学会 専門医試験問題 解答と解説 第2集 (第4回~第6回) (日本精神神経学会専門医制度試験委員会, 新興医学出版社, 東京) p102-128,2020
2. 築瀬誠 編著, 精神障害作業療法入門改訂第2版, 協同医書出版, 東京, 2020
3. 柳田信彦, 知識・情報の不足に対するアプローチ. 築瀬誠 編著, 精神障害作業療法入門改訂第2版, 協同医書出版, 東京, p153-156, 2020

(英文論文)

1. Han G, Maruta M, Ikeda Y, Ishikawa T, Tanaka H, Koyama A, Fukuhara R, Boku S, Takebayashi M, Tabira T, Relationship between Performance on the Mini-Mental State Examination Sub-Items and Activities of Daily Living in Patients with Alzheimer's Disease. *J Clin Med* 9(5):1537, 2020 doi: 10.3390/jcm9051537
2. Ikeda Y, Han G, Maruta M, Hotta M, Ueno E, Tabira T, Association between Daily Activities and Behavioral and Psychological Symptoms of Dementia in Community-Dwelling Older Adults with Memory Complaints by Their Families. *Int. J. Environ Res Public Health*, 17(18), 6831 2020 doi: 10.3390/ijerph17186831
3. Maruta M, Makizako H, Ikeda Y, Miyata H, Nakamura A, Han G, Shimokihara S, Tokuda, K, Kubozono T, Ohishi M, Tomori K, Tabira T, Associations between Depressive Symptoms and Satisfaction with Meaningful Activities in Community-Dwelling Japanese Older Adults. *J Clin Med*, 9(3), 795, 2020 doi: 10.3390/jcm9030795
4. Matsuo T, Moriuchi T, Iso N, Hasegawa T, Miyata H, Maruta M, Mitsutake T, Yamaguchi Y, Tabira T, Higashi T, Effects of prism adaptation on auditory spatial attention in patients with left unilateral spatial neglect: a non-randomized pilot trial. *Int J Rehabil Res*, 43(3):228-234, 2020 doi: 10.1097/MRR.0000000000000413
5. Miyata H, Hasegawa T, Maruta M, Takahashi H, Matsuo T, Tabira T, Cognitive task suppresses extra-epidermal electrical stimulation evoked potentials. *Act Nerv Super Rediviva*, 62(1): 5-9, 2020
6. Saji N, Makizako H, Suzuki H, Nakai Y, Tabira T, Obuchi S, Kawai H, Murotani K, Katayama N, Toba K, Uchida Y, Nakashima T, Hearing impairment is associated with cognitive function in community-dwelling older adults: a cross-sectional study. *Archives of Gerontology and Geriatrics*, 04302, 2020 doi: 10.1016/j.archger.2020.104302
7. Sagari, A, Tabira, T, Maruta, M, Miyata, H, Han, G, Kawagoe, M, Causes of changes in basic activities of daily living in older adults with long-term care needs. *Australas J Ageing*: 1-8, 2020 doi.org/10.1111/ajag.12848
8. Shimokihara S, Tanoue T, Takeshita K, Tokuda K, Maruta M, Moriuchi T, Tabira T, Usefulness of navigation application for outdoor mobility guides in community-dwelling older adults: a preliminary study. *Disability and Rehabilitation: Assistive Technology*, 16, in press.
9. Tabira T, Maruta M, Matsudaira K, Matsuo T, Hasegawa T, Sagari A, Han G, Takahashi H, Tayama J, Relationship between attention bias and psychological index in individuals with chronic low back pain: A preliminary event-related potential study. *Front Hum Neurosci*, 26, 2020. doi: 10.3389/fnhum.2020.561726
10. Tabira T, Hotta M, Murata M, Yoshiura K, Han G, Ishikawa T, Koyama A, Ogawa N, Maruta M, Ikeda Y, Mori T, Yoshida T, Hashimoto M, Ikeda M, Age-Related Changes in Instrumental and Basic Activities of Daily Living Impairment in Older Adults with Very Mild Alzheimer's Disease. *Dement Geriatr Cogn Disord Extra*, 10: 27-37, 2020. doi: 10.1159/000506281
11. Tokuda K, Maruta M, Shimokihara S, Han G, Tomori K, Tabira T, Self-Selection of Interesting Occupation Facilitates Cognitive Response to the Task: An Event-Related Potential Study. *Front Hum Neurosci*, 14:299, 2020. doi: 10.3389/fnhum.2020.00299. eCollection 2020.

(和文論文)

1. 赤崎安昭, (精神病理学と私) 生物学的精神医学から臨床精神病理学へ—鹿児島“少数派”の活動報告も含めて, *臨床精神病理*, 41(2), 167-177,2020
2. 赤崎安昭, (精神科専門医をみざす人への助言) 私と臨床精神医学—若手精神科医の先生方への助言も含めて, *九州神経精神医学*, 66(2), 23-26,2020
3. 下木原俊, 丸田道雄, 吉満孝二, 徳田圭一郎, 上城憲司, 西田征治, 磯直樹, 内田淳, 福永一喜, 椿野由佳, 村島久美子, 河

業績目録

- 合晶子, 田平隆行, 医療・介護施設における徘徊行動とその支援についての実態調査, 日本作業療法研究学会雑誌, 23(1): 9-16,2020
- 中谷陽二, 清野憲一, 鈴木秀行, 菅野 亮, 赤崎安昭, 吉岡眞吾, 村松太郎, 特集 精神鑑定—私の実践と提言—法曹と精神医学の対話 座談会, 臨床精神医学, 47(11), 1171-1191,2018
 - 韓侑熙, 丸田道雄, 高橋弘樹, 上城憲司, 田平隆行, 脳血管障害患者の表情認知における情報処理パターンと損傷領域に関する予備的研究, 作業療法, 39(1): 38-46,2020
 - 韓侑熙, 丸田道雄, 高橋弘樹, 中村篤, 宮田浩紀, 竹林実, 松尾崇史, 田平隆行, 脳血管障害患者の情報処理型による表情識別能力の相違および認知機能評価との関連性, 日本作業療法研究学会雑誌, 23(1): 17-23,2020
 - 韓侑熙, 丸田道雄, 高橋弘樹, 中村篤, 宮田浩紀, 松尾崇史, 田平隆行, 脳卒中患者の心の理論についての研究—認知機能評価の成績と前頭葉損傷有無の観点からの検討—, 日本作業療法研究学会雑誌, 23(2), in press
 - 松尾翼, 窪田正大, 大津龍馬, 瀬戸山弘貴, 本松逸平, 八反丸健二, 嚥下障害患者に対する干渉波電気刺激療法の試み—ジェントルスティム導入前後での嚥下機能の変化について—, 日本スティミュレーションセラピー学会会誌 1(1): 43-49,2020.
 - 矢野幸治, 井上和博, 深野佳和, 未就学児の座位姿勢制御に関する研究, 小児保健研究79(4), 322-331,2020
 - 吉満孝二, 浜田利満, 藤田賢太郎, 西綾, 福永一喜, 認知症高齢者とのコミュニケーションを支援する表情解析技術の検討, 日本ヒューマンケア・ネットワーク学会誌 18(1): 100-108,2020
 - 吉満孝二, 千種芳幸, 平嶋佑太郎, 丸田道雄, 貯痰時に副雑音に含まれる特徴量の解析, 鹿児島大学医学部保健学科紀要 30(1): 9-14,2020
 - 和田あゆみ, 牧迫飛雄馬, 中井雄貴, 富岡一俊, 谷口善昭, 佐藤菜々, 木山良二, 田平隆行, 窪蘭琢郎, 竹中俊宏, 大石充, 地域在住高齢者における社会的フレイルとうつ傾向との関連, 鹿児島大学医学部保健学科紀要, 31, in press.

【学会発表】

(国内学会)

- 赤井田将真, 牧迫飛雄馬, 中井雄貴, 富岡一俊, 谷口善昭, 和田あゆみ, 佐藤菜々, 丸田道雄, 田平隆行, 地域在住高齢者における意味のある活動の満足度とフレイルの関係, 第14回日本作業療法研究学会, 2020年11月 (Web)
- 赤崎安昭, 【特別講演】鑑定人として鹿児島から発信してきたこと・発信していくこと, 第16回日本司法精神医学会大会, 2020年11月 (Web)
- 有川瑛人, 窪田正大, 原口友子, 堀ノ内啓介, 有馬美智子, 夏越祥次, 右島皮質損傷例が呈した特徴的な神経心理学的症状の発現機序, 第44回日本高次脳機能障害学会, 2020年11月 (Web)
- 池田由里子, 丸田道雄, 平田優, 田平隆行, 家族が捉えているもの忘れがある地域在住高齢者の IADL と BPSD の特徴, 第54回日本作業療法学会, 2020年9月 (Web)
- 磯直樹, 岡部拓大, 鈴木誠, 田平隆行, 川越雅弘, 訪問リハビリテーションを利用した要介護者の心身機能を含めた生活機能の経時的変化, 第54回日本作業療法学会, 2020年9月 (Web)
- 井上和博, 柳田信彦, 赤崎安昭, 「発達支援」を必要としている子どもの問題行動が母親に及ぼす影響, 第103回鹿児島精神神経学会, 2020年12月 (Web)
- 上野恵理, 池田由里子, 下木原俊, 日高憲太郎, 田平隆行, 地域在住認知症高齢者における生活行為工程分析表 (PADA-D) を用いた更衣, 整容に関する特徴, 第54回日本作業療法学会, 2020年9月 (Web)
- 岡部拓大, 鈴木誠, 磯直樹, 田平隆行, 川越雅弘, 生活自立確率の長期的変化—要介護高齢者を対象にした項目反応理論解析—, 第54回日本作業療法学会, 2020年9月 (Web)
- 叶内宏明, 鈴木太朗, 山下三香子, 改元香, 牧迫飛雄馬, 田平隆行, 郡山千早, 竹中俊宏, 窪蘭琢郎, 大石充, 垂水市在住高齢女性におけるたんぱく質およびマグネシウム摂取量とプレフレイルの関連, 第67回日本栄養改善学会学術総会, 2020年9月 (札幌・誌上発表)
- 上村佳代, 入江香, 小山徹平, 春日井基文, 中村雅之, 赤崎安昭, 刑事精神鑑定におけるバウムテストの特徴について心理職の立場から, 第16回日本司法精神医学会大会, 2020年11月 (Web)
- 小城くみこ, 楠本朗, 堀切靖, 赤崎安昭, 森岡洋史, 自閉スペクトラム症を精神病理学的に理解するための試み—第8報—, 第43回日本精神病理学会総会, 2020年10月 (Web)
- 下木原俊, 丸田道雄, 中村篤, 池田由里子, 田平隆行, 地域在住高齢者が生活の中で重要としている作業の特徴—性別および年代別の検討—, 第54回日本作業療法学会, 2020年9月 (Web)

業 績 目 録

12. 田平隆行, 丸田道雄, 韓侑熙, 岡部拓大, 川越雅弘, 認知症高齢者の要介護度に伴う ADL 自立度の低下様式. 第54回日本作業療法学会. 2020年9月 (Web)
13. 田平隆行, 池田由里子, 丸田道雄, 日高憲太郎, 韓侑熙, 吉浦和宏, 石川智久, 堀田牧, 池田学, 地域在住認知症高齢者における IADL 工程障害の居住形態による相違. 第35回日本老年精神医学会, 2020年12月 (米子, 誌上发表)
14. 中村篤, 牧迫飛雄馬, 丸田道雄, 宮田浩紀, 田平隆行, 運転を中断した地域在住高齢者の生活上重要な作業の特徴および抑うつとの関連. 第54回日本作業療法学会. 2020年9月 (Web)
15. 韓侑熙, 福原竜治, 朴秀賢, 竹林実, 田平隆行, レビー小体型認知症患者の MMSE の下位項目と ADL との関連についての研究. 第54回日本作業療法学会. 2020年9月 (Web)
16. 韓侑熙, 福原竜治, 竹林実, 丸田道雄, 中村篤, 宮田浩紀, 下木原俊, 徳田圭一郎, 池田由里子, 田平隆行, アルツハイマー病患者の行動心理症状と日常生活活動との関連についての研究. 第14回日本作業療法研究学会, 2020年11月 (Web)
17. 深見志乃, 井上和博, 段階づけた介入と家庭との連携を行ったことで, トイレ動作に改善が見られた精神運動発達遅滞の一例. 第54回日本作業療法学会, 2020年9月 (Web)
18. 深見真也, 井上和博, 生活への歩行器導入により, トイレ動作の介助量軽減につながった年長脳性麻痺の1例. 第54回日本作業療法学会, 2020年9月 (Web)
19. 藤田賢太郎, 吉満孝二, 福永一喜, 田中有貴, 青木孝之, 浜田利満, 台所の火事インシデントを防ぐ介護ロボットの開発について. 第54回日本作業療法学会, 2020年9月 (Web)
20. 前島武蔵, 永留篤男, 原田亮祐, 末永亮太, 富永香澄, 栗野大成, 和田麻未, 窪田正大, 八反丸健二, 下肢周径に対する物理療法を用いた即時変化の検討. 第33回鹿児島県理学療法士学会, 2020年2月 (鹿児島市)
21. 牧迫飛雄馬, 田平隆行, 沖利通, 根路銘安仁, 保健系大学院におけるディプロマ・ポリシー到達度に対する学生自己評価とその関連要因. 第52回日本医学教育学会大会, 2020年7月 (鹿児島・誌上发表)
22. 増永美奈, 窪田正大, 原口友子, 松本航, 高田昌実, 外来リハビリテーションを経て, 自動車運転再開の許可が得られた脳出血一症例の長期経過. 第54回日本作業療法学会, 2020年9月 (Web)
23. 丸田道雄, 牧迫飛雄馬, 中村篤, 大勝秀樹, 田平隆行, フレイル状態の地域在住高齢者が生活の中で重要とする活動の特徴. 第54回日本作業療法学会. 2020年9月 (Web)
24. 丸田道雄, 牧迫飛雄馬, 池田由里子, 韓侑熙, 中村篤, 宮田浩紀, 下木原俊, 大勝巖, 大勝秀樹, 田平隆行, 地域在住高齢者が重要とする活動の満足度と抑うつ症状の関連. 第14回日本作業療法研究学会, 2020年11月 (Web)
25. 宮田浩紀, 丸田道雄, 中村篤, 池田由里子, 田平隆行, 地域在住高齢者の生活上重要な作業活動の満足度と社会的フレイルとの関連. 第54回日本作業療法学会. 2020年9月 (Web)
26. 宮田浩紀, 丸田道雄, 中村篤, 韓侑熙, 池田由里子, 下木原俊, 徳田敬一郎, 赤崎義彦, 日高雄磨, 田平隆行, 高齢化率40%を超える地域における社会的フレイルの有病率と重要な作業の特徴. 第14回日本作業療法研究学会, 2020年11月 (Web)
27. 吉満孝二, 藤田賢太郎, 福永一喜, 坂下寛志, 平嶋佑太郎. 在宅高齢者のリスク管理に関する調査—介護ロボットのニーズ調査としてアッシュ. 第54回日本作業療法学会, 2020年9月 (Web)
28. 和田あゆみ, 牧迫飛雄馬, 中井雄貴, 富岡一俊, 谷口善昭, 佐藤葉々, 田平隆行, 窪菌琢郎, 竹中俊宏, 大石充, 地域在住高齢者における就労状況と精神・心理的指標との関連. 第62回日本老年医学会学術集会, 2020年8月 (東京・誌上发表)

【講演】

1. 赤崎安昭, 司法精神医学の基本—精神鑑定を中心に—実家家屋に放火した後, 両親を殺害した事例の検証, 日本精神神経学会主催 第13回司法精神医学研修会, 2020年1月 (東京)
2. 赤崎安昭, 大人の「発達障害」の特徴と対応, 鹿児島産業保健総合支援センター 産業保健研修会, 2020年2月 (鹿児島市)
3. 赤崎安昭, 「性格」と「人格」の仕組み—メンタルヘルス問題の予防も含めて—, 鹿児島産業保健総合支援センター 産業保健研修会, 2020年6月 (鹿児島市)
4. 赤崎安昭, うつ病の病理・診断と治療, そして復職支援, 鹿児島産業保健総合支援センター 産業保健研修会, 2020年8月1日 鹿児島市
5. 赤崎安昭, 新型コロナウイルス感染症流行下における学生・教職員のメンタルヘルス問題, 平成2年度鹿児島大学 FD・SD 合同フォーラム, 2020年10月 (鹿児島市)
6. 赤崎安昭, 「人格」と「発達」の障害について—非違事案の発生防止も含めて—, 鹿児島県警察本部講演会, 2020年10月 (鹿児島市)

業績目録

7. 赤崎安昭, 「うつ病」ってなに?—自殺防止対策も含めて—, 鹿児島大学 秋のオープンキャンパス2020 オンライン型企画ミニ講義, 2020年11月(鹿児島市)
8. 赤崎安昭, 人の心の仕組み—精神的不調のメカニズムも含めて—, 鹿児島大学 秋のオープンキャンパス2020, バストティーチャーによる体験講義, 2020年11月(鹿児島市)
9. 赤崎安昭, 「不安」を主症状とする人たちの治療の実際, 鹿児島産業保健総合支援センター 産業保健研修会, 2020年12月(鹿児島市)
10. 赤崎安昭, 日精看 鹿児島県支部主催 第8回 鹿児島県支部研修会 大人の発達障害について, 2020年12月(WEB開催 事務局, 一般社団法人日本精神科看護協会 鹿児島支部)
11. 井上和博, 発達障害のある子どもの理解と支援～感覚統合の視点から～, 鹿児島国際大学児童相談センター&音楽療法研究会「日々輝」共同企画, 2020年2月(鹿児島市)
12. 井上和博, 配慮の必要な子どもの理解と支援, ふじが丘保育園幼児保育相談事業, 2020年2月(鹿児島市)
13. 井上和博, 子どものからだ(運動)の発達—8ヵ月～11ヵ月を対象に—, 鹿児島市りぼんかん, 2020年6月(鹿児島市)
14. 井上和博, 配慮の必要な子どもの理解と支援, くすのこ保育園幼児保育相談事業, 2020年6月(鹿児島市)
15. 井上和博, 配慮の必要な子どもの理解と支援, ふじが丘保育園幼児保育相談事業, 2020年8月(鹿児島市)
16. 井上和博, 子どものからだの発達を促す関わりについて—10ヵ月～1才11ヵ月を対象に—, 鹿児島市親子つどいの広場なまっち, 2020年8月(鹿児島市)
17. 井上和博, 書字における問題とその対応～姿勢・操作・見ることの視点から～, 鹿児島市中部子どもの発達を支援する連絡会, 2020年8月(鹿児島市)
18. 井上和博, 感覚の特性について～感じやすさと感じにくさ～, 鹿児島市社会事業協会, 2020年9月(鹿児島市)
19. 井上和博, 感覚の特性について～感じやすさと感じにくさ～, 児童デイサービスおひさま, 2020年11月(鹿児島市)
20. 田平隆行, 認知症の介護予防と生きがい作り, オアシスケア講演会, 2020年2月(喜界町)
21. 田平隆行, Data Based で考える認知症の生活行為に対する支援, 市民公開講座, 第54回日本作業療法学会, 2020年9月(Web)
22. 田平隆行, 認知症介護予防とフレイル対策, 認知症ケアに携わる人材育成のための研修事業, 2020年11月(Web)
23. 田平隆行, 認知症の人の生活障害・残存能力の特徴とそれを活かした支援, 令和2年度三重県作業療法士会みんなで学ぶ認知症とともに地域で暮らす研修会, 2020年11月(Web)
24. 田平隆行, いきいき脳のための生活習慣, 令和2年度脳活性チャレンジ講座, 2020年12月(鹿児島市)
25. 東登志夫, 島田岳, 長山洋史, 友利幸之介, 竹林崇, 田平隆行, 組織的学術研究体制構築の取り組み, シンポジウム, 第54回日本作業療法学会, 2020年9月(Web)
26. 柳田信彦, 認知症高齢者に対するレクリエーションの意義と効果について, 医療法人寛容会 介護老人保健施設さくらんぼ研修会, 2020年2月(鹿児島市)
27. 築瀬誠, 令和2年度 鹿児島県作業療法士協会第1回研究法研修会, 2020年8月(鹿児島市)
28. 築瀬誠, 令和2年度 宮崎県立都城西高校出前授業, 2020年9月(都城市)
29. 築瀬誠, 令和2年度 かれん鹿児島交流会, 2020年9月(鹿児島市)

【その他】

(報告書等)

1. 赤崎安昭, 新型コロナウイルス対策とメンタルヘルス, 鹿児島産業保健総合支援センター 「さんぽ鹿児島」メールレター 第206号, 2020年5月
2. 赤崎安昭, 新型コロナウイルス対策とメンタルヘルス, さんぽかわら版 42,3-4,2020
3. 赤崎安昭, 「新しい生活様式」の実践とメンタルヘルス問題—新型コロナウイルス感染症対策—, 鹿児島県医師会報 第832号 2020年10月号
4. 田平隆行, 提言, 層を厚く, 作業療法ジャーナル54(5):404-405,2020
5. 田平隆行, 池田学, 栗田主一, 牧迫飛雄馬, 山口智晴, 友利幸之介, 田中寛之, 吉浦和宏, 韓旻熙, 吉満孝二, アルツハイマー病患者に対する生活行為工程分析に基づいたリハビリテーション介入の標準化に関する研究, 令和元年度厚生労働科学研究費補助金(長寿科学政策研究事業)報告書, 2020年6月
6. 田平隆行, 第5回新型コロナウイルス感染症に負けない認知機能の低下予防, 広報たるみず116:24-27,2020
7. 藤田賢太郎, 竹田寛, 吉満孝二, 福永一喜, 坂下寛志, 平嶋佑太郎, 青木孝之, 谷口勇作, 福森鉄雄, 介護ロボットのニーズ・

業績目録

シーズ連携協議会全国設置・運営業務報告書, 262-311,2020

8. 堀田牧, 田平隆行, 生活行為工程分析表マニュアル, <https://tabitaka-lab.jimdofree.com/>. 2020年3月

(研修会等)

1. 窪田正大, 研究デザイン: シングルケーススタディについて, 八反丸リハビリテーション病院教育部研修会, 2020年1月(鹿児島市)
2. 窪田正大, 研究デザイン: 調査研究と介入研究について, 八反丸リハビリテーション病院教育部研修会, 2020年2月(鹿児島市)
3. 窪田正大, 研究計画書の作成について, 八反丸リハビリテーション病院教育部研修会, 2020年2月(鹿児島市)
4. 窪田正大, 基本的な医学統計学について, 八反丸リハビリテーション病院教育部研修会, 2020年3月(鹿児島市)
5. 吉満孝二, 高齢者の心理評価としての表情解析. 社会福祉法人常磐会法人研修会, 2020年2月(鹿児島市)
6. 吉満孝二, 対象者の観察2. 社会福祉法人常磐会法人研修会, 2020年6月(鹿児島市)
7. 吉満孝二, 義肢と装具. 鹿児島県立盲学校出前講義, 2020年11月(鹿児島市)
8. 吉満孝二, 介護ロボット高齢者と身近な福祉機器. 令和2年高大連携による出前授業, 2020年11月(宮崎)

(司法精神鑑定)

1. 赤崎安昭, 殺人・死体遺棄 被告事件 公判鑑定
2. 赤崎安昭, 現住建造物等放火 被疑事件 本鑑定
3. 赤崎安昭, 器物損壊 被告事件 公判鑑定

(民事精神鑑定)

1. 赤崎安昭, 保佐開始の審判申立事件
2. 赤崎安昭, 保佐開始の審判申立事件
3. 赤崎安昭, 後見開始の審判申立事件
4. 赤崎安昭, 補助開始の審判申立事件
5. 赤崎安昭, 後見開始の審判申立事件
6. 赤崎安昭, 保佐開始の審判申立事件
7. 赤崎安昭, 保佐開始の審判申立事件
8. 赤崎安昭, 後見開始の審判申立事件

(医療観察法に関する業務)

1. 赤崎安昭, 傷害致傷事件 令和2年4月27日
2. 赤崎安昭, 傷害致傷事件 令和2年11月30日

(労働災害に関する業務)

1. 赤崎安昭, 労働災害に対する鑑定書 令和2年1月6日
2. 赤崎安昭, 労働災害に対する鑑定書 令和2年2月5日
3. 赤崎安昭, 労働災害に対する鑑定書 令和2年7月15日
4. 赤崎安昭, 労働災害に対する鑑定書 令和2年7月22日
5. 赤崎安昭, 労働災害に対する鑑定書 令和2年9月1日
6. 赤崎安昭, 労働災害に対する鑑定書 令和2年10月4日
7. 赤崎安昭, 労働災害に対する鑑定書 令和2年10月7日
8. 赤崎安昭, 労働災害に対する鑑定書 令和2年12月14日
9. 赤崎安昭, 労働災害に対する鑑定書 令和2年12月14日